取扱説明書

ver.001

H.264圧縮方式
HD-SDI専用 デジタルレコーダー

カメラ1～4台用

PF-RN204HD

カメラ1～8台用

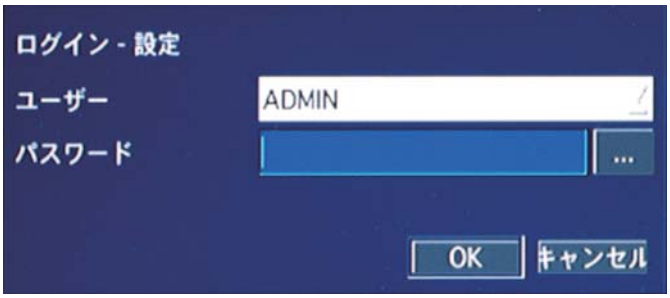
PF-RN208HD

カメラ1～16台用

PF-RN216HD

～安心と信頼で未来を守る～
株式会社 日本防犯システム
Security System
http://www.js-sys.com

初期パスワード



パスワード 1111

⚠ 不正使用を防ぐため、変更することをお勧めします。パスワードの変更はP.36を参照ください。

電源の入れ方

本体前面パネル左にある ⏻ 電源ボタンを押します。

DVR 機能が正常動作をするためには 30 ～ 60 秒程度起動時間が必要です。起動後は分割画面で映像が表示され、録画設定した内容により録画が開始します。

電源の切り方

マウスによる操作方法

1. 画面上を左クリックし、ポップアップメニュー内の [システム終了] を左クリックします。
2. 確認画面 [システムを終了しますか ?] が表示されるので、[はい] を左クリックします。
3. パスワード入力画面が表示されるのでパスワードを入力し、[OK] を左クリックすると電源が切れます。

本体前面ボタン・リモコンによる操作方法

1. 本体前面パネル左またはリモコンにある ⏻ 電源ボタンを押します。
2. 確認画面 [システムを終了しますか ?] が表示されるので、[はい] を選択します。
3. パスワード入力画面が表示されるのでパスワードを入力し、[OK] を押すと電源が切れます。

目次

安全上のご注意 ····· 4
主な特徴・主要部品の交換時期・付属品 ····· 9
仕様 ····· 10

1.各部の機能と接続 ····· 12
1.1. 前面パネル ····· 12
1.2. 後面パネル ····· 14
1.3. リモコン ····· 15
1.4. 防犯カメラとの接続 ····· 16
1.5. ネットワーク接続 ····· 17
1.6. センサーおよびアラームの接続 ····· 18

2.設定のしかた ····· 19
2.1. 設定メニューの基本操作 ····· 19
2.1.1. 使用者モードに入る前に ····· 19
2.1.2. 設定画面に入るには ····· 19
2.1.3. 設定メニューを操作するには ····· 19
2.1.4. 設定を保存するには ····· 20
2.1.5. 設定メニューの構成 ····· 21
2.2. 画面表示 ····· 22
2.3. 録画設定 ····· 23
2.3.1. 録画モードの種類 ····· 24
2.3.2. スケジュール設定 ····· 25
2.4. デバイス設定 ····· 26
2.4.1. アラーム出力設定 ····· 27
2.4.2. コントローラー&PTZ設定 ····· 28
2.4.3. スポットモニター設定 ····· 29
2.4.4. モーション検出領域設定 ····· 30
2.4.5. リモコンIDの操作 ····· 30
2.5. 録画装置設定 ····· 30
2.5.1. HDD温度感知設定 ····· 31
2.6. システム設定 ····· 32
2.6.1. NTP設定 ····· 33
2.6.2. メール送信設定 ····· 34
2.6.3. 時刻不一致が発生した場合は ····· 34
2.7. セキュリティー設定 ····· 35
2.7.1. 使用者権限設定 ····· 36
2.7.2. 使用者パスワード設定 ····· 36
2.7.3. データ検索権限 ····· 37
2.8. ネットワーク設定 ····· 38
2.8.1. DDNSサーバーの設定 ····· 39
2.8.2. ネットワークストリーミングの設定 ····· 40
2.9. 設定管理 ····· 41
2.10. 簡単設定 ····· 42

3.ライブ監視 ····· 43
3.1. ライブ画面の説明 ····· 43
3.1.1. ポップアップメニュー ····· 44
3.1.2. デジタルズーム機能 ····· 45

4. 検索と再生 ····· 46
4.1. 検索メニューの基本操作 ····· 46
4.1.1. 検索画面に入るには ····· 46
4.1.2. 再生時の操作 ····· 46
4.2. タイムライン検索 ····· 47
4.2.1. タイムラインからデータを検索するには ····· 47
4.3. イベント検索 ····· 48
4.3.1. イベント検索画面からデータを検索するには ····· 48
4.4. 先頭映像検索 ····· 48
4.5. 最終映像検索 ····· 48
4.6. 日時指定検索 ····· 49
4.7. キャプチャーリストの検索 ····· 49
4.7.1. キャプチャー画像を確認･バックアップするには ····· 49
4.8. ログの検索 ····· 50

5. PTZカメラの操作 ····· 50

6. バックアップ ····· 52
6.1. ライブ映像のバックアップ ····· 52
6.2. 再生映像のバックアップ ····· 53
6.3. キャプチャーリストからのバックアップ ····· 54
6.4. 動画バックアップファイルの再生 ····· 54

7. 遠隔で操作するには ····· 56
7.1. UMSクライアントソフトの動作環境 ····· 56
7.2. UMSクライアントソフトのインストール ····· 56
7.3. UMSクライアント “UMS Single Client” の設定と使用 ····· 57
7.3.1. ライブモードの構成と各部のはたらき ····· 57
7.3.1.1. 接続のしかた(ローカル接続) ····· 59
7.3.1.2. 接続のしかた(インターネット経由) ····· 60
7.3.2. 検索モードの構成と各部のはたらき ····· 61
7.3.3. 設定のしかた ····· 63
7.3.4. ポップアップメニュー ····· 66
7.3.5. 遠隔設定 ····· 67
7.4. UMSクライアント “UMS Multi Client” の設定と使用 ····· 67
7.5. WEBクライアント “IEブラウザ” 上での設定と使用 ····· 81
7.6. スマートフォンでのライブ画面監視 ····· 85
故障かな?と思ったら ····· 87
アフターサービスについて ····· 87

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

■ 電源コードを傷つけない

- ●付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
- ●電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。

禁　止

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- ●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- ●定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

禁　止

■ 電源コード接続時の注意

- ●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- ●電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
- ●コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。

禁　止

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

分解禁止

⚠警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。

⚠警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに

■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。

⚠注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

●本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
●上下間は 1cm 以上の隙間を開ける
●左右は 5cm 以上を開ける
●ラック後面と壁面間は 10cm 以上開ける

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

●急激な温度（毎時 10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

●直射日光が当たる場所
●水にぬれやすい場所
●冷暖房器具や加湿器に近い場所
●エアコンなどの冷風が直接当たる場所
●ほこりやちりの多い場所
●火気のある場所
●磁気を持っているものに近い場所
●揮発性物質のある場所
●常に振動のある場所や車や列車など

付属の AC アダプターについて

⚠危険

■ 分解したり、改造しない

●内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
●直流電源器として使用しないでください。

■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ ぬらさない

●水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
●風呂場、シャワー室等では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

■ 付属の AC アダプター以外は使用しない

付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。

■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って AC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

■ ぬれた手で AC アダプターをさわらない

感電の原因となります。

付属の AC アダプターについて

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- ●異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- ●異常状態になった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

■ AC アダプターとコンセントの注意

- ●コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
- ●AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- ●AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
  不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- ●AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
  差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- ●AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC 入力端子から DC プラグを抜いた状態にしない
  ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- ●AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
  ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。
  特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
  ほこりの清掃
  AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- ●コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
  定格電力を超えると火災の原因になります。

⚠注意

■ コード類は正しく接続する

AC アダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■ 不安定な場所に置かない

- ●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- ●お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ●本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

⚠警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない

■ 電源を切ってから約 30 秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの 4 箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ●梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ●ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてくだ

主な特徴

- ●放送用ハイビジョンデジタル VTR で多く採用されている信号規格 HD-SDI 採用で高精細映像を実現
- ●H.264 データ圧縮方式で高効率高画質
- ●スマートフォンでの遠隔監視が可能
- ●音声記録対応
- ●USB メモリへのデータバックアップ
- ●HDMI 映像出力対応
- ●リモコンと DVR ユーティリティーソフトウエア付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度 25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が 2 年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 放熱ファン

ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因になります。時々、放熱ファンが正常に動作しているか（止まっていたり異音がしていないか）を確認してください。

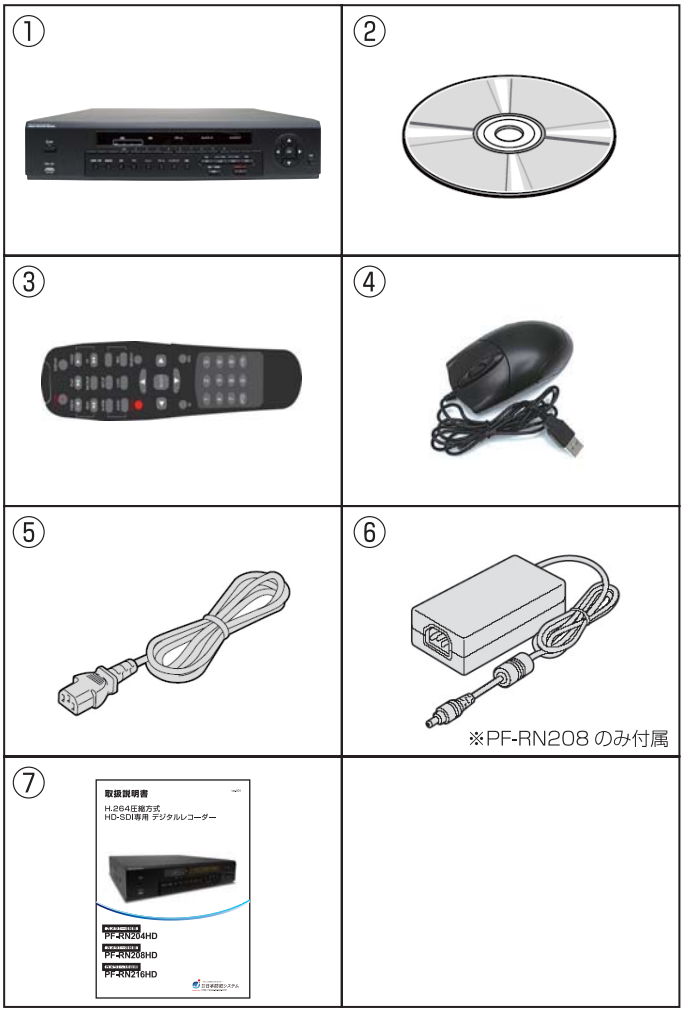
■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）

2 年（周囲温度 25℃）

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

①DVR 本体
②CD-ROM
③リモコン（単 3 電池 ×2 個付属）
④マウス
⑤電源ケーブル
⑥AC アダプター ※PF-RN208 のみ付属
⑦取扱説明書（本書）



仕様

型番			PF-RN204	PF-RN208	PF-RN216
映像	入力		4CH(HD-SDI)	8CH(HD-SDI)	16CH(HD-SDI)
	出力		HDMI×1 /VGA 信号 ×1		
音声	入力		4CH(RCA)	8CH(RCA)	16CH(RCA)
	出力		1 RCA		
	圧縮方式		G.711		
マルチ動作	PentaPlex		ライブ/録画/再生/バックアップ/ネットワーク		
インタフェース	メニュー表示		グラフィックユーザーインタフェース(GUI)		
	入力方法		マウス/リモコン		
ライブ画面表示	Video Lossチェック		対応		
	デジタルズーム		選択領域の最大化		
	画面自動切換え		3 ～ 60 秒		
録画	圧縮方式		H.264		
	解像度		1920×1080/1920×540/1280×720/640×360 で ch ごとに設定可能		
	録画画質グレード		4 段階で選択可能		
	録画モード		常時 / モーション / センサー / スケジュール / 手動		
	モーション検知		全画面 / 選択領域		
	イベント前録画		15 秒 /30 秒 /1 分 /3 分 /20 分 /		
	イベント後録画		10 ～ 30 秒 /60 秒		
再生	デジタルズーム		選択領域の最大化		
	速度	早送り	×1、×2、×4、×8、×16、×32		
		早戻し	×1、×2、×4、×8、×16、×32		
	記録映像検索モード		タイムライン / イベント / キャプチャーリスト / ログ / 日時指定		
バックアップ	ファイル形式		JPEG/ 独自動画フォーマット		
	保存メディア		USB メモリー / 外付けハードディスク / ネットワーク		
	再生アプリケーション		独自のビューアプログラム内蔵		
保存装置	ハードディスク	インタフェース	SATA/e-SATA		
		最大容量(/1個)	4TB		8TB
		最大搭載可能数	2 個		4 個
	外付け保存装置		e-SATA(×1 個)		
	ファイルシステム		独自開発のファイルシステム		
	Raid		対応 (予定)		
	S.M.A.R.T.		HDD エラーのチェックおよび報告		
アラーム	センサー入力		4 ライン入力	8 ライン入力	16 ライン入力
	センサー出力		1 ライン出力	2 ライン出力	4 ライン出力

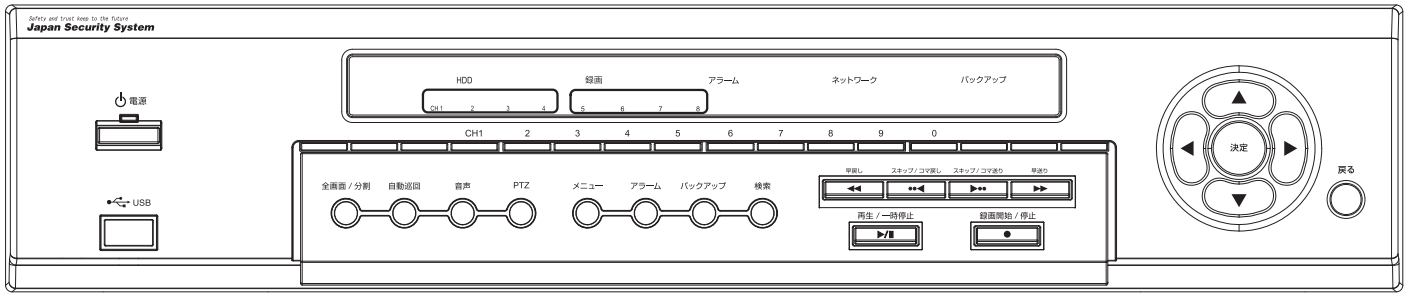
仕様

型番		PF-RN204	PF-RN208	PF-RN216
シリアルポート	RS-232C	POS		
	RS-485	PTZ 制御、キーボードコントローラー		
ネットワークポート	イーサネット	RJ-45、10/100/1000Base-T、オート MDI/MDIX		
ネットワーク	ライブ	H.264 CIF 120fps		
	再生	H.264 HD 30fps		
	ストリーム	RTP/RTSP/RTCP		
	プロトコル	HTTP/DDNS/NTP/SMTP		
遠隔接続	PCクライアント	ライブ監視 / データ検索・再生 / バックアップ PTZ カメラコントロール / 遠隔設定		
	Webビューア	ライブ監視 / データ検索・再生 / バックアップ PTZ カメラコントロール / 遠隔設定		
	3Gモバイル監視	iPhone、Android 対応		
その他	サマータイム	対応		
	ブザー音	Video Loss /HDD エラー		
	多言語	対応		
	ソフトウェアアップグレード	USB メモリー、ネットワーク経由の遠隔アップグレード		
	ネットワークタイムプロトコル	対応		
一般仕様	動作温度・湿度	温度 5 ～ 40℃、湿度 20 ～ 80%		
	電源入力	AC100 ～ 127V/200 ～ 240V、5 ～ 60Hz、280W		
	重量（HDD 未装着時）	約 4.1kg	約 6kg	
	寸法（幅 × 高 × 奥）mm	約 380×72×340mm	約 432×98×430mm	

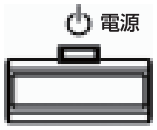
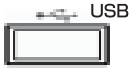
※仕様および外観は、性能改善などにより予告なく変更することがあります。

1. 各部の機能と接続

1.1. 前面パネル



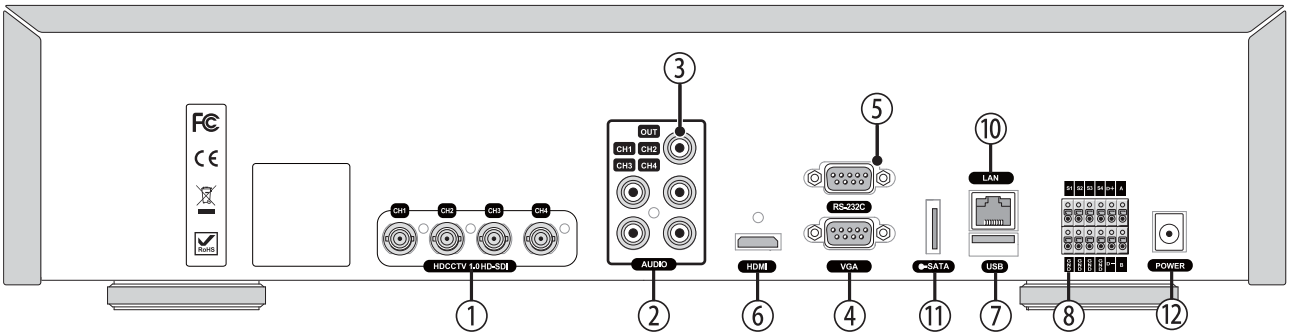
ランプやボタンの説明

名前	説明
	電源ソケットに電源プラグが接続している間にはLEDが点灯されます。 LEDが点灯している時に電源ボタンを押すと、システムが起動します。 システムONの時は緑色、システムOFFの時はオレンジ色のLEDが点灯します。
	データ･設定内容の保存する場合に、USBメモリー(2.0)を接続します。
○ HDD	ハードディスクへのアクセス中に点灯します。
○ 録画	ライブ映像の録画中に点灯します。
	録画中のチャンネルのLEDが点灯します。
○ アラーム	アラーム出力中に点灯します。
○ ネットワーク	ネットワークから接続されていると点灯します。
○ バックアップ	データのバックアップ中に点灯します。
数字ボタン	チャンネルを選択します。選択されたチャンネルの映像が1画面で表示されます。
録画 / 分割	画面表示を切り替えます。 （全画面・4分割・6分割・8分割・9分割・13分割・16分割）※型番によって異なります
自動巡回	各チャンネルの映像が自動切換えになります。
音声	押すごとに音声出力モードが切換わります。 (消音/1チャンネル音声/4チャンネル音声同時出力)
PTZ	PTZカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスなどを操作します。
メニュー	設定メニューに入ります。
アラーム	押すごとにアラーム出力モードがOn/Offに切換わります。

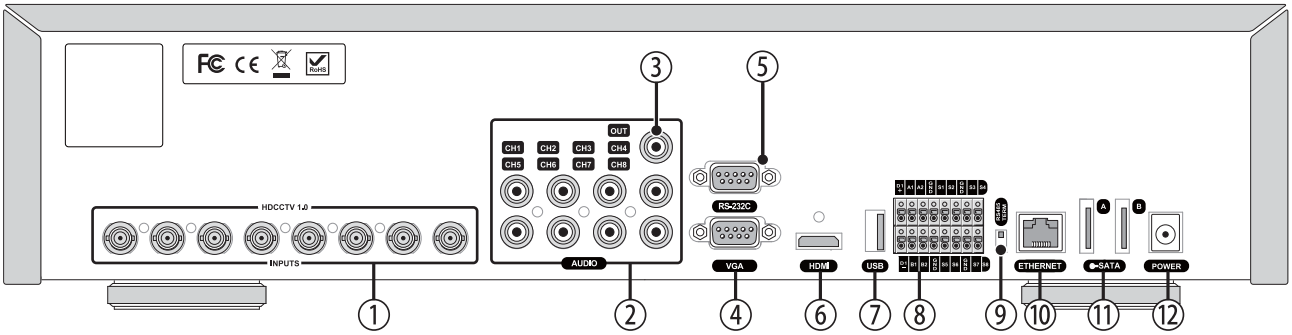
バックアップ	ライブや再生映像をバックアップします。
検索	検索モードに入ります。
早戻し	再生時、映像を早戻しします。 押すごとに再生速度が1→2→4→8→16→32→1→2→4…倍速に変化します。
早送り	再生時、映像を早送りします。 押すごとに再生速度が1→2→4→8→16→32→1→2→4…倍速に変化します。
スキップ / コマ戻し	再生時、1分前の映像にジャンプして再生します。 映像が一時停止状態で押した場合は、1フレームずつ前へ移動します。
スキップ / コマ送り	再生時、1分先の映像にジャンプして再生します。 映像が一時停止状態で押した場合は、1フレームずつ先へ移動します。
再生 / 一時停止	再生時、映像を一時停止/再生します。
録画開始 / 停止	設定された録画モードを無視して、手動録画を開始/中止します。
▲	カーソルを上に動かします。 パスワード入力時には、数字1を入力します。
▶	カーソルを右に動かしたり、設定値を変更します。 パスワード入力時には、数字2を入力します。
▼	カーソルを下に動かします。 パスワード入力時には、数字3を入力します。
◀	カーソルを左に動かしたり、設定値を変更します。 パスワード入力時には、数字4を入力します。
決定	選択した項目を確定します。 ライブ画面では、選択されたチャンネルの映像を1画面で表示します。
戻る	前画面に戻ります。 ライブ画面では、タスクバーの表示/非表示。

1.2. 後面パネル

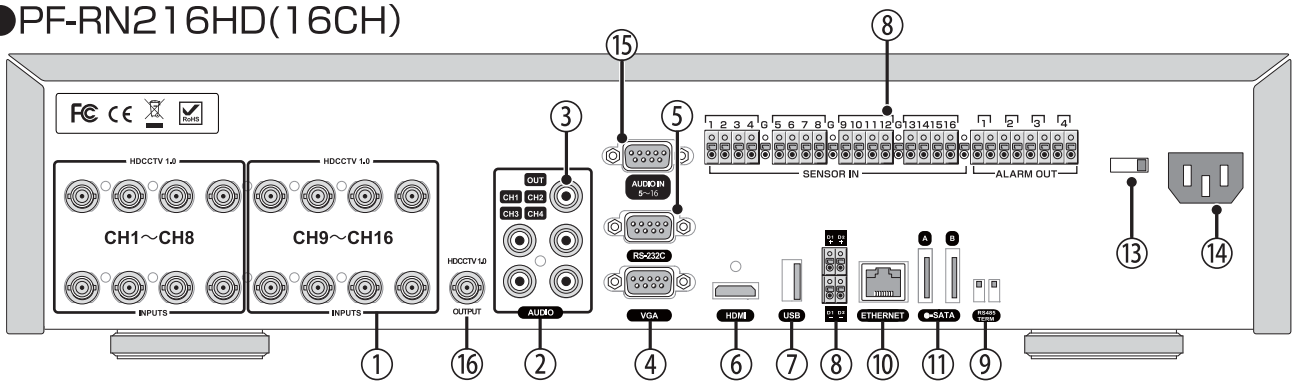
●PF-RN204HD(4CH)



●PF-RN208HD(8CH)



●PF-RN216HD(16CH)



① INPUTS：映像入力端子(HD-SDI)

② AUDIO IN：音声入力端子

③ AUDIO OUT：音声出力端子

④ VGA：映像出力端子(VGA)

⑤ RS-232C： ATM 機器、または POS 機器に連結してテキスト連動機能として使用します。

⑥ HDMI：映像出力端子(HDMI)

⑦ USB：USB端子

⑧ SENSOR IN / ALARM OUT：

D1+、D1− …PTZカメラ、コントローラーの制御線を接続します。
A、B…アラームを出力する機器（パトライトや警報機等）を接続します。
A1、B1…アラームを出力する機器（パトライトや警報機等）を接続します。
A2、B2…アラームを出力する機器（パトライトや警報機等）を接続します。
ALARM OUT…アラームを出力する機器（パトライトや警報機等）を接続します。
S1 ～ S16…センサー機器のプラスを接続します。
GND…センサー機器のマイナスを接続します。

⑨ RS-485TERM：ON/OFF切替スイッチ

RS-485 を使用した外部機器接続を複数台 (PTZ カメラ 2 台とコントローラー 1 台など) 接続する場合は、スイッチを ON にして下さい。
※PTZ カメラとコントローラーを 1 台づつ (1ペア) で使用する場合は必ず OFF にして使用します。

⑩ ETHERNET：ネットワーク端子(LAN)

⑪ e-SATA：外付け記録機器取付端子

⑫ 電源装置：電源アダプタ入力端子

⑬ 入力電圧切替スイッチ： 本機を設置する地域の標準電圧に設定します。

⑭ 電源ソケット：電源アダプタ入力端子

⑮ AUDIO IN：音声入力端子※付属のケーブルを使用します

⑯ OUTPUT：映像出力端子(HD-SDI)

1.3. リモコン

POWER	電源の入/切
DISPLAY	1画面/4画面画面の表示
F/REW	1分前の映像にジャンプ
PLAY/PAUSE	再生/静止
F/ADV	1分先の映像にジャンプ
REW	早戻し
BACKUP	静止画または保存映像のバックアップ
FF	早送り
ALARM	アラーム出力の入/切
SETUP	設定画面表示
AUDIO	音声の切/1チャンネル出力/4チャンネル出力の切換え
LOCK	全てのボタンをロック
SEQ	画面自動切換え
RECORD	手動録画
SEARCH	検索画面表示
▲▼◀▶	方向ボタン
SELECT	選択ボタン
ID	DVRのIDを入力（IDボタン+DVR ID数字）
ESC	前画面に戻る
PTZ	PTZメニューを表示
0～9	チャンネル選択
+10	使用しません

マウスの操作

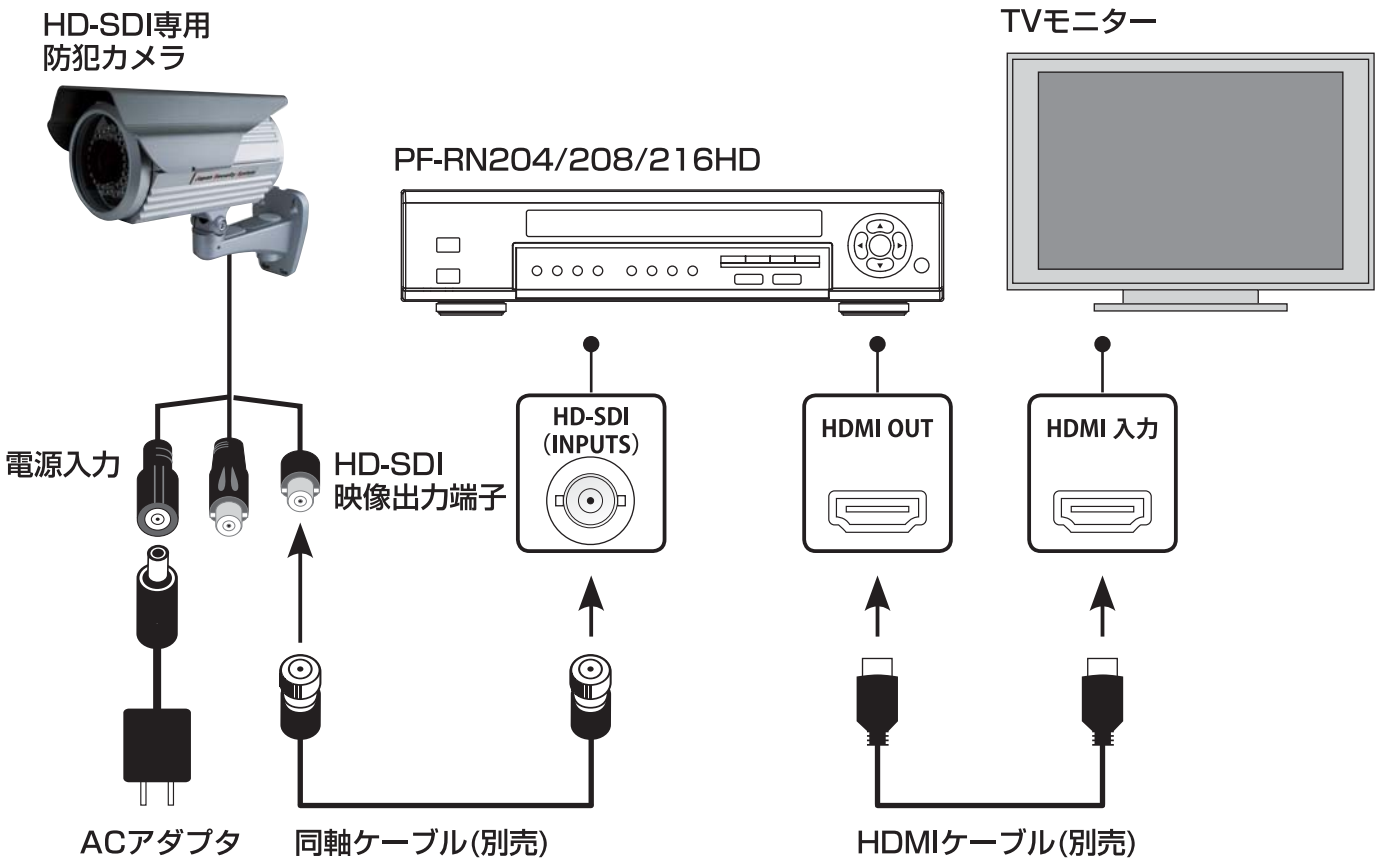
左クリック

メニューアイコン表示中や設定項目を選択します。
決定ボタンと同じ役割をします。
監視時に、ダブルクリックすると、全画面・分割画面の
切替ができます。

右クリック

通常画面でクリックすると簡易（ポップアップ）メニューを表示します。
再生モード時は再生用メニューを表示します。

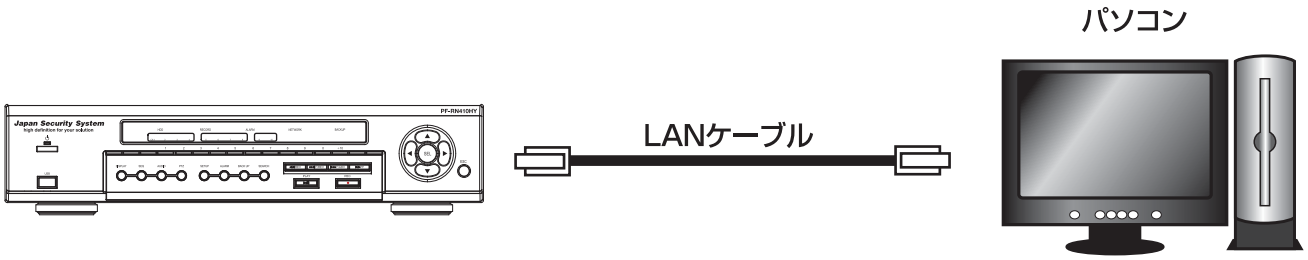
1.4. 防犯カメラとの接続



カメラの接続、入れ替えなど行った場合は必ずレコーダーの電源を入れ直してください。

接続構成図その1

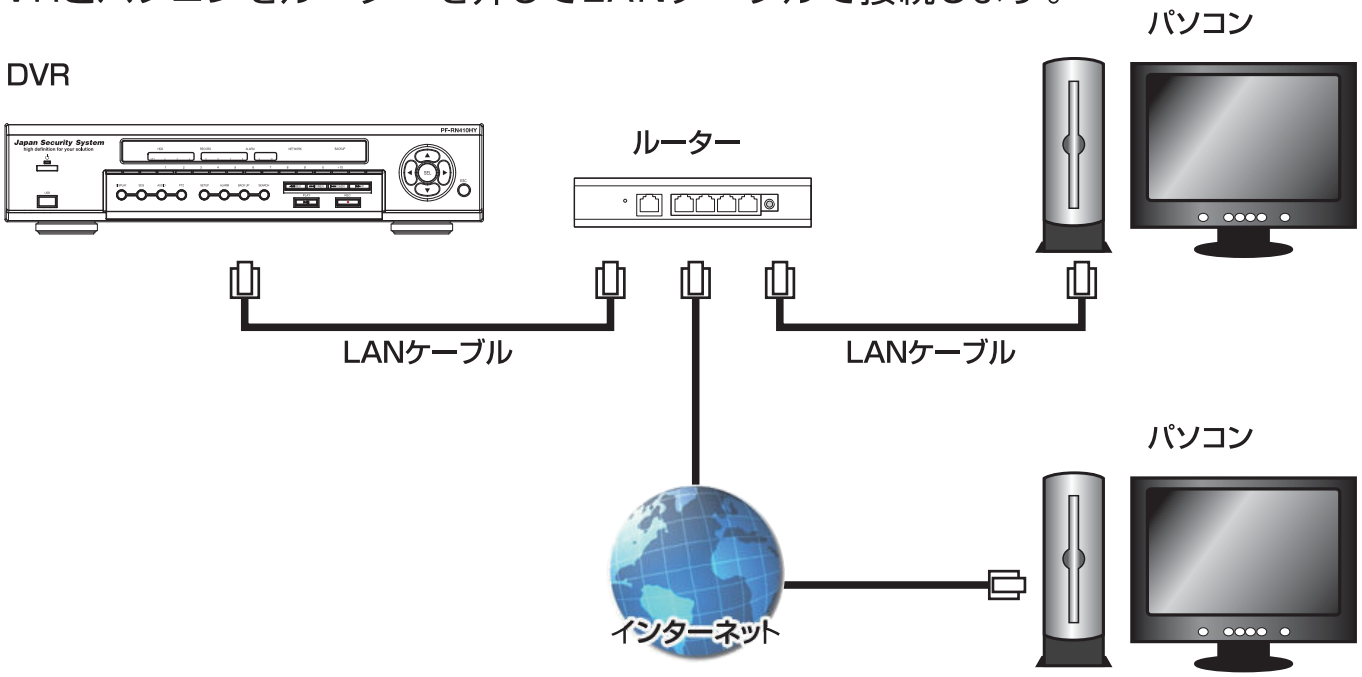
DVRとパソコンをLANケーブルで直接接続します。



直接接続すると接続したPCのみでDVRの映像の確認・再生・設定操作などが行えます。
※インターネットを経由した接続は行えません。

接続構成図その2

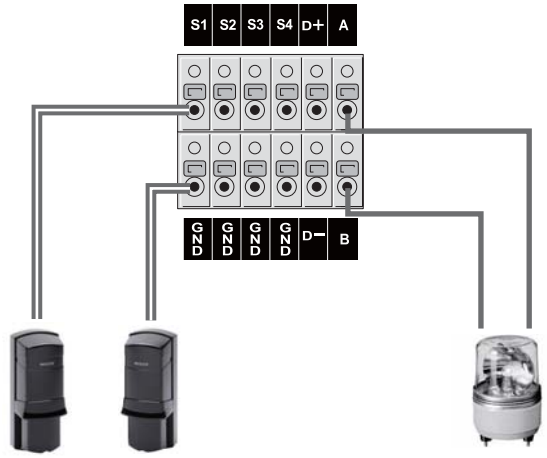
DVRとパソコンをルーターを介してLANケーブルで接続します。



同一LAN内のパソコンまたは、インターネットを経由した遠隔監視が可能です。

1.6. センサーおよびアラームの接続

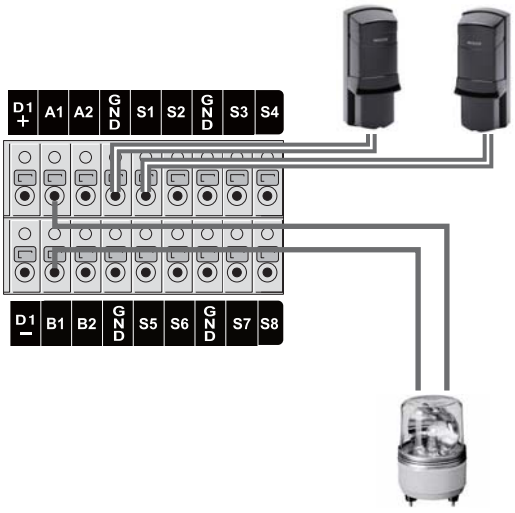
●PF-RN204HD(4CH)



センサー機器に接続　　警報機器に接続

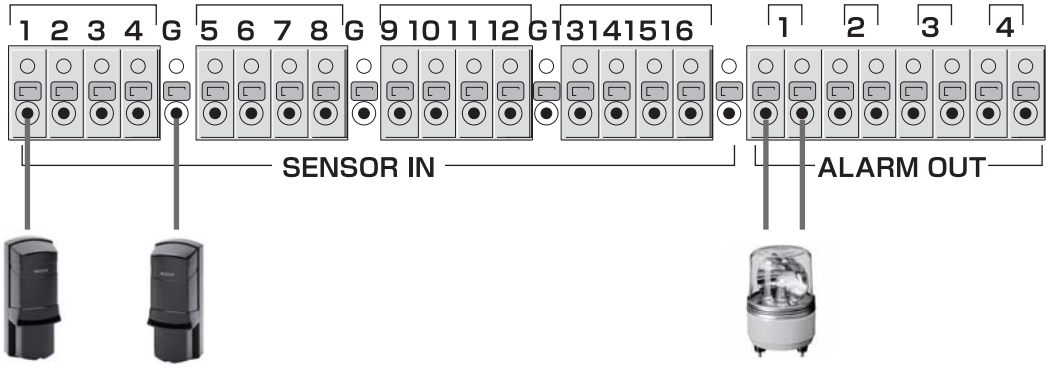
●PF-RN208HD(8CH)

センサー機器に接続



警報機器に接続

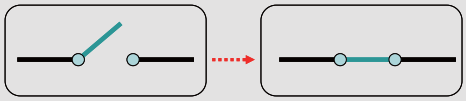
●PF-RN216HD(16CH)



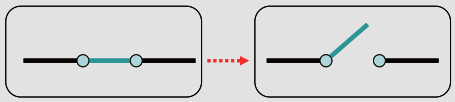
センサー機器に接続　　警報機器に接続

−− ： 反応しません。

N/O ：Normally open type sensor. 通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。



N/C ：Normally closed type sensor. 通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。



アラーム出力の使用可能仕様は最大電流AC 0.5A 12.5V、最大電圧DC 1A 30Vです。

2. 設定のしかた

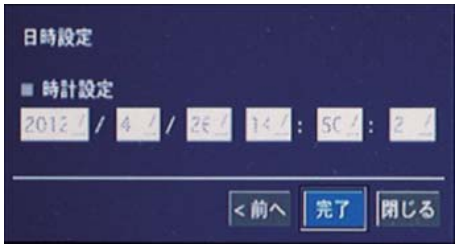
2.1. 設定メニューの基本操作

2.1.1. 使用者モードに入る前に

①後面の電源ソケットに電源コードを接続します。通電すると電源ランプがオレンジ色(待機中)に点灯します。

②電源ボタンを押すと、電源ランプが緑色(起動中)に変わり、初期化を開始します。初期化が完了してDVRが起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。「JAPANESE」を選択し、「Next>」をクリックします。

③現在時刻を確認します。現在時刻を変更したい場合は、「CLOCK SET」のチェックボックスにチェックを入れてください。現在時刻が年/月/日/時/分/秒で設定できるようになります。時刻の設定が完了すると、「Finish」をクリックします。



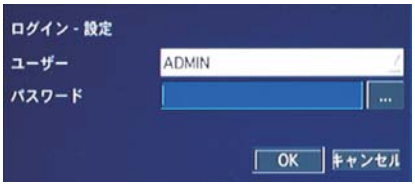
④接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、使用者が操作できるようになります。

2.1.2. 設定画面に入るには

① 設定画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルの「メニュー」かリモコンの「SET UP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「設定」をクリックします。

② ログイン画面が表示されると、コントロールボタン(◂▸)でユーザータイプを選択します。設定メニューに入る時にログインが必要かいなかについては、設定メニューの「セキュリティー」メニューで変更できます。



③ ボタンをクリックすると文字表が表示されます。コントロールボタン(▲▼◀▶)かマウスを利用し、選択したユーザータイプに合うパスワードを入力してください。各ユーザーのパスワードは、設定メニューの「セキュリティー」メニューで設定できます。パスワードを入力し、「OK」をクリックすると、設定画面が表示されます。

※工場出荷時のパスワードは「 1111 」です。システムの安全のため、購入後、パスワードを変更することをお勧めします。

2.1.3. 設定メニューを操作するには

- マウスの操作 ： マウスの左ボタンで、選択したい項目やボタンをクリックします。
- 前面パネルのボタン・リモコンの操作 ：

▼ボタン	1つ次の設定項目に移動します。
▲ボタン	1つ前の設定項目に移動します。
◂▸ボタン	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタン	ボタンを選択します。
「ESC」ボタン	ボタンを選択します。

- 項目の設定 ：

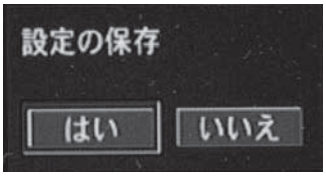
	「決定」ボタンやマウスクリックで選択すると、ドロップダウンで選択肢が表示されます。
	コントロールボタン(◂▸)やマウスのドラック&ドロップで、設定値が変更できます。
	クリックすると、文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

2.1.4. 設定を保存するには

①設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」ボタンを押すと、右のような設定保存の画面が表示されます。

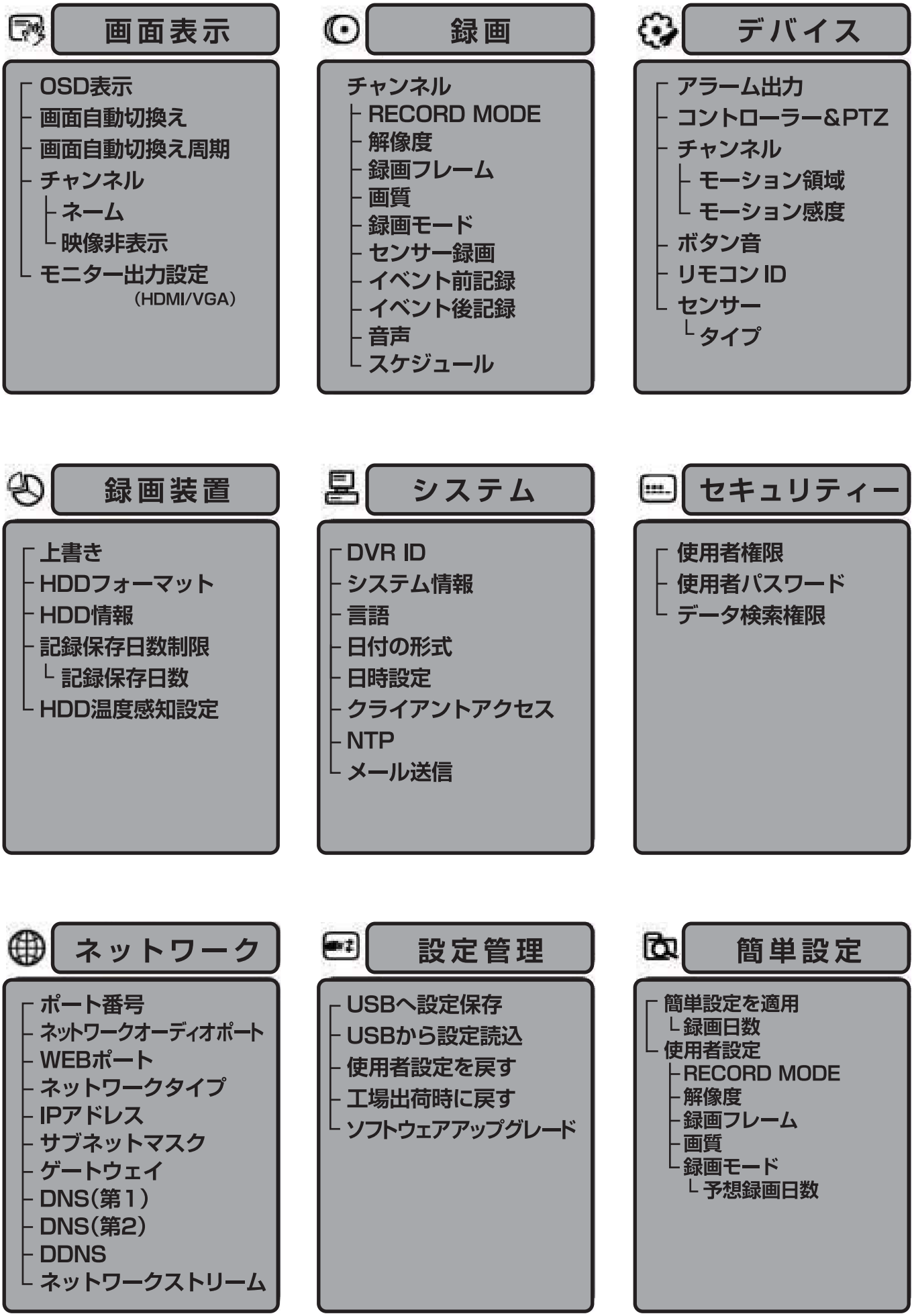
②「はい」を選択すると変更した設定内容が保存されます。

③「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効化されます。



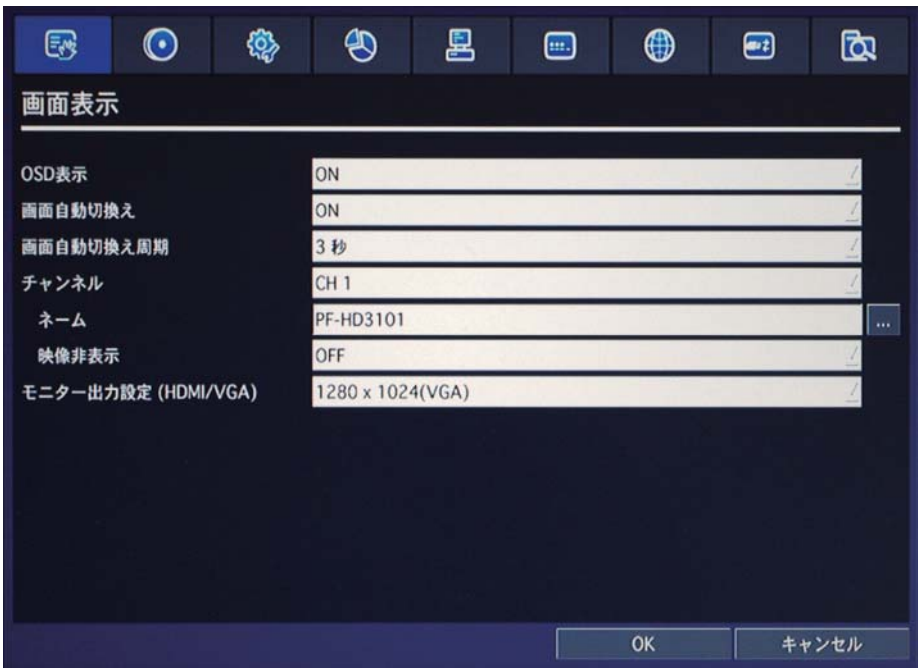
※設定完了後、設定メニュー画面の右下の「キャンセル」ボタンを押すと、変更した設定内容が無効化されます。

2.1.5. 設定メニューの構成



2.2. 画面表示

ライブ画面の表示に関する設定を行います。

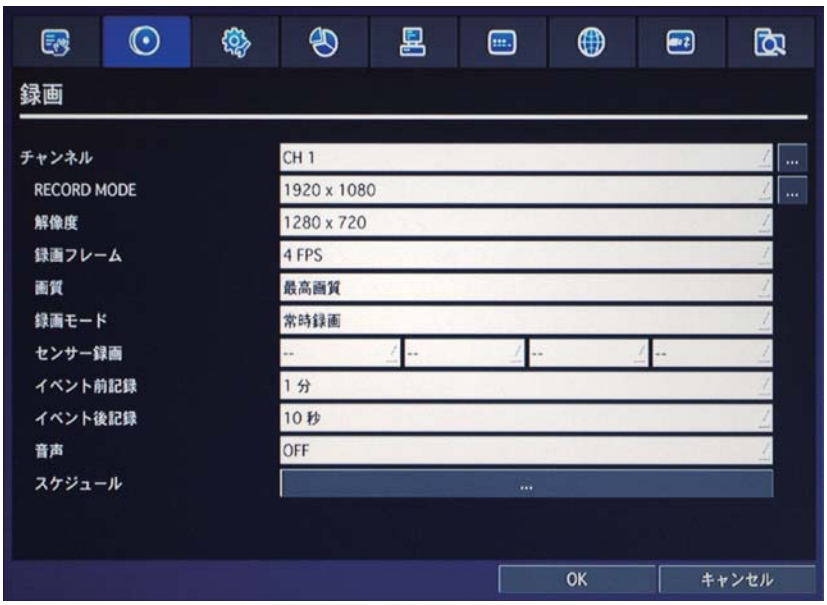


画面表示メニューの項目

項目	説明
OSD表示	画面情報を表示するかどうかを設定します。(選択肢:ON/OFF) OFFを選択すると、チャンネル名や録画マークなどの画面情報が表示されません。
画面自動切換	画面自動切換えを設定します。(選択肢:ON/OFF)
画面自動切換周期	画面自動切換えの周期を設定します。(設定範囲:3～60秒)
チャンネル	チャンネル名を変更したいチャンネルを選択します。 (4CH 選択肢:CH1 ～4 / 8CH 選択肢:CH1 ～8 / 16CH 選択肢:CH1 ～16)
ネーム	チャンネル名を設定します。 ...ボタンを押すと、文字入力表が表示され、変更したいチャンネル名を入力できます。
映像非表示	映像を非表示するかどうかを設定します。(選択肢:ON／OFF) ON を選択すると映像が表示されなくなります。
モニター出力設定 (HDMI/VGA)	モニター出力サイズを設定します。 (選択肢: 1280×720 1920×1080i 1920×1080p 1280×720p[DVI] 1920×1080i[DVI] 1920×1080p[DVI] 1024×768p[VGA] 1280×1024p[VGA] 1920×1200p[VGA])

2.3. 録画設定

録画に関する設定を行います。



録画設定メニューの項目

項目	説明
チャンネル	下位項目(解像度、録画フレーム、画質、録画モード、センサー録画、イベント前記録、イベント後記録、録音、スケジュール設定)を設定するチャンネルを指定します。 [...] ボタンを押すと、「全CH設定−録画」画面が表示され、すべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。 コントロールボタン (▲▼◀▶) で変更したい項目に移動し、本体の「決定」ボタンまたはリモコンの「SELECT」を押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。 コントロールボタン (◀▶) で設定値を変更し、本体の「決定」ボタンか「戻る」ボタンまたは、リモコンの「SELECT」か「ESC」を押すと設定値が保存されます。 「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。
RECORD MODE	録画サイズを指定します。(選択肢：1280×720/1920×1080) [...] ボタンを押すと、「グループ」ごとに一括で設定が可能です。
解像度	録画の解像度を設定します。 (選択肢：1920×1080[最大 5 コマ]/1280×720[最大 10 コマ]/ 1920×540[最大 10 コマ]/640×360[最大 15 コマ])

解像度 録画フレーム 画質 録画モード イベント前記録 イベント後記録 音声
ALL 1280 x 720 4 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
1 1280 x 720 4 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
2 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
3 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
4 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
5 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
6 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
7 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
8 1280 x 720 5 最高画質 常時録画 1 分 10 秒 OFF
OK
キャンセル

録画フレーム	録画のフレームレートを設定します。 （選択肢 ： 1 ～最大 15 コマ ）※選択した解像度によって異なります。
画質	録画画質を選択します。 （選択肢：ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質）
録画モード	録画モードを選択します。 （選択肢：常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール録画/ OFF ） ※ 各モードの詳しい説明は「2.3.1.録画モードの種類」をご参照ください。
センサー録画	各チャンネルに4つのセンサーが設定できます。
イベント前記録	内蔵モーションセンサーや外部センサー検知の発生時、何秒・何分前から録画を開始するかを選択します。（選択肢：OFF/15秒/30秒/1分/3分/20分）
イベント後記録	センサー検出後からの録画時間を指定します。（設定範囲：10～60秒）
音声	ライブ映像の音声を録音するかを設定します。（選択肢：ON/OFF）
スケジュール	1週間単位のスケジュール設定によって、指定された曜日や時刻に録画モードが自動的に変更されます。 ボタンを押すと、スケジュール画面が表示され、1週間単位の録画スケジュールが設定できます。 ※ 詳細は「2.3.2. スケジュール設定」をご参照ください。

2.3.1. 録画モードの種類

録画する条件を6つの録画モードから選択できます。

常時録画

：DVRの電源がONになっている間は常時録画を行います。

モーション録画

：DVR内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。

センサー録画

：DVRの外部センサー入力端子(S1～S4)に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。

スケジュール録画

：録画設定メニューの「スケジュール」項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。

OFF

：録画を行いません。

手動録画

：DVR のフロントパネルの「録画開始 / 停止」ボタンまたはリモコンの「RECORD」ボタンを押すと、
各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。手動録画モードを解除する時は、
「録画開始 / 停止」ボタンまたはリモコンの「RECORD」ボタンをボタンをもう一度押してください。

2.3.2. スケジュール設定

① 録画設定メニューで「スケジュール」項目に移動し、前面パネルの「決定」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すとスケジュール設定画面が表示されます。

② 「チャンネル」項目に、スケジュールを設定したいチャンネルを指定します。(選択肢:1～4)

③ 下のボタンから録画モードを選択します。

④ スケジュール表のマス目をクリック、あるいはドラックすると、選択中の録画モードが設定されます。各録画モードごとに、マス目に表示される色が違います。

色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄色	モーション録画
白(色なし)	録画しない

- 1日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日ボタンをクリックします。

例)
「月」をクリックすると、月曜日の24時間が選択した録画モードに設定されます。

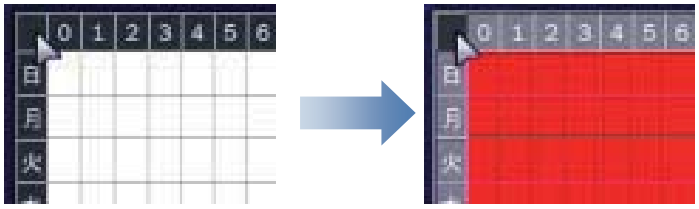
- 毎日指定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

例)
「4」をクリックすると、毎日の04:00～05:00の間の時間が選択した録画モードに設定されます。

● 毎日同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。

例）

をクリックすると、毎日の全時間帯が選択した録画モードに設定されます。



● クリア ボタンをクリックすると、スケジュール表の録画モード設定が全部消え、初期化されます。

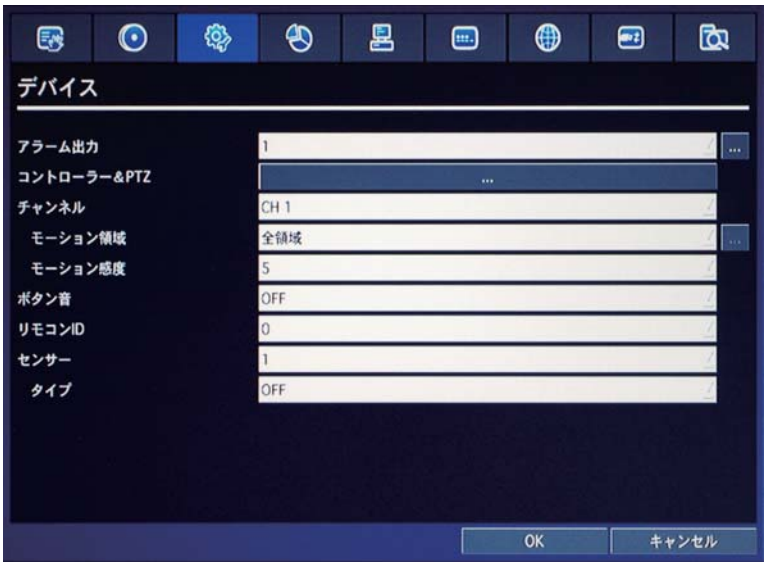
⑤「OK」をクリックすると、録画モードが「スケジュール」になっているチャンネルの録画モードが設定したスケジュール通りに変更されます。

※ 設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーしたい場合

「スケジュールを他のCHにコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ、 コピー ボタンをクリックすると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

2.4. デバイス設定

センサーやPTZカメラなどの外部装置に関する設定を行います。



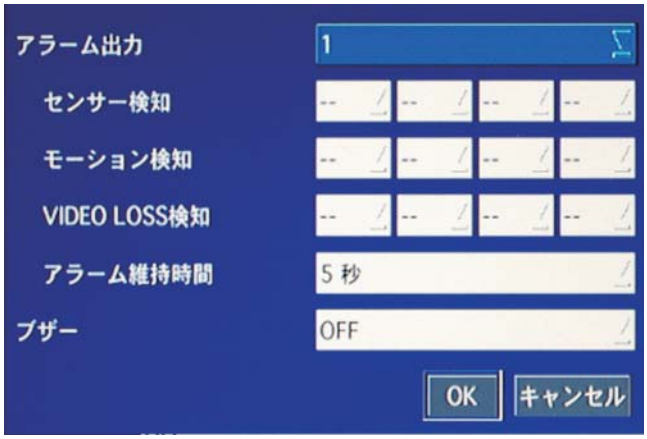
デバイスメニューの項目

項目	説明
アラーム出力	... ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSSなどによるアラーム出力を設定します。 ※ 詳細は「2.4.1. アラーム出力設定」をご参照ください。
コントローラー&PTZ	... ボタンを押すと表示されるPTZ画面でPTZカメラのスピード、カメラ名、IDなどを設定します。 ※ 詳細は「2.4.2. PTZ設定」をご参照ください。

チャンネル	モーション領域を設定するチャンネルを指定します。(選択肢:CH1～CH4)
モーション領域	モーション検出の領域を指定します。(選択肢:全領域/検出枠) 検出枠を選び、[...]ボタンを押すと表示される検出枠設定画面でモーションを検出する領域を設定します。 ※詳細は「2.4.3. モーション検出領域設定」をご参照ください。
モーション感度	モーション検出の感度を選択します。(選択肢:1～9) 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。(選択肢:ON/OFF)
リモコンID	リモコンのIDを設定します。(選択肢:0～99) ※詳細は「2.4.4. リモコンIDの操作」をご参照ください。
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。(選択肢:1～4)
センサータイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 (選択肢:OFF/N/OPEN/N/C LOSE) ● N(Normal)/Open:通常はオープン状態で、クローズしたら反応する ● N(Normal)/Close:通常はクローズ状態で、オープンしたら反応する ● OFF:反応しない

2.4.1. アラーム出力設定

アラーム出力の条件を設定します。



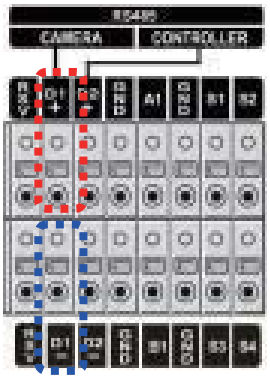
アラーム出力メニューの項目

項目	説明
アラーム出力	アラーム出力端子の番号です。 ※4CH は 1 つ、8CH は 2 つ、16CH は 4 つ出力端子があります。
センサー検知	指定した外部センサー入力端子に入力があるとアラーム信号を出力します。 4つまでのセンサー入力端子番号が設定できます。
モーション検知	指定した映像入力端子にモーション検知の入力があるとアラーム信号を出力します。 4つまでのチャンネルが設定できます。
VIDEO LOSS検知	指定した映像入力端子にVIDEO LOSSが発生するとアラーム信号を出力します。 4つまでのチャンネルが設定できます。
アラーム持続時間	アラーム信号の出力時間を設定します。(選択肢：5 ～ 60 秒、無限)
ブザー	DVRの内蔵ブザーを鳴らす条件を設定します。 (選択肢:OFF/ALL/HDDエラー/VIDEO LOSS)

2.4.2. コントローラー&PTZ 設定

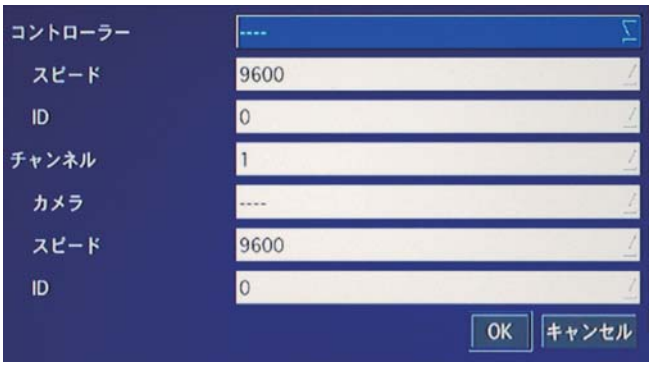
PTZ機能の操作のため、まずPTZカメラの接続と設定が必要です。

PTZカメラのRS-485ケーブルを後面パネルのRS-485ポートに接続します。



型番によって形状が異なります。

メモ ： RS-485対応のスピードドームカメラをRS-485端子に接続してください。もしカメラがRS-232Cからコントロールされている場合は、RS-485→RS-232Cシグナルコンバーターをご使用ください。



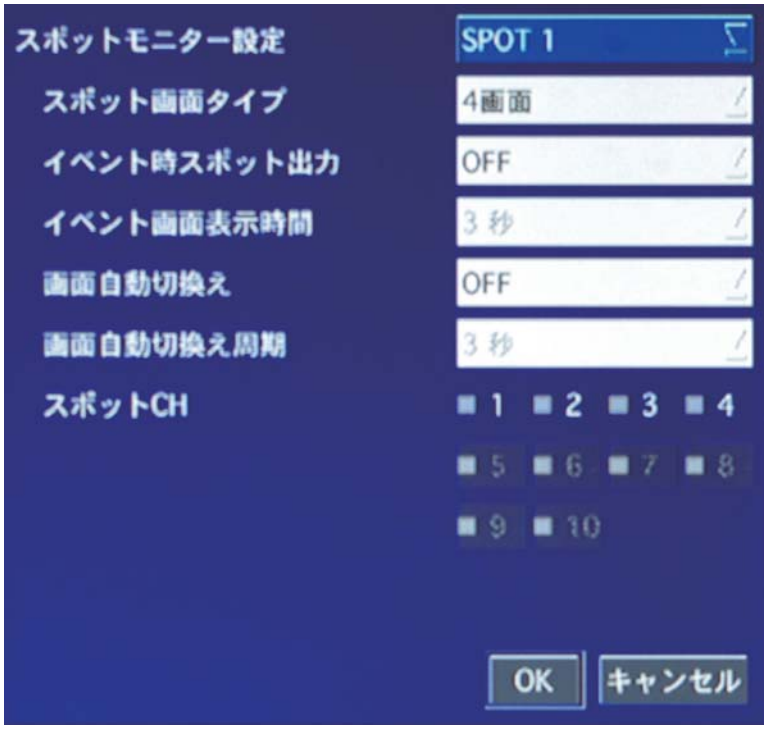
PTZメニューの設定

項目	説明
コントローラー	接続しているコントローラーのプロトコルを選択します。
スピード	通信速度を設定します。（選択肢：2400/4800/9600/14400/19200）
ID	接続しているコントローラーの ID を設定します。（選択肢：0 ～ 63）
チャンネル	下位項目（カメラ、スピード、ID）を設定するチャンネルを指定します。
カメラ	接続しているカメラのプロトコルタイプを選択します。
スピード	通信速度を設定します。（選択肢：2400/4800/9600/14400/19200）
ID	接続しているカメラの ID を設定します。（選択肢：0 ～ 63）

※詳しい操作方法はご利用の PTZ カメラの取扱説明書をご参照ください。

2.4.3　スポットモニター設定

スポットモニター出力の条件を設定します。

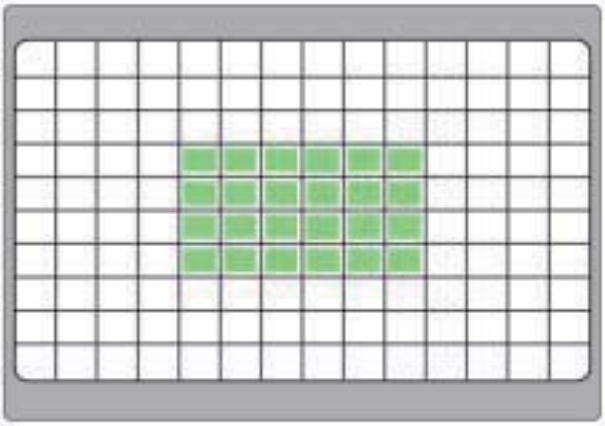


スポットモニター出力の設定

項目	説明
スポットモニター設定	下位項目を設定する SPOT チャンネルを指定します。
スポット画面タイプ	画面表示を指定します。（選択肢：4 画面、1 画面） ※選択肢は型番によって異なります。
イベント時スポット出力	イベント発生時にスポット出力するかしないかを選択します。（選択肢：ON/OFF）
イベント画面表示時間	イベント発生時にスポット出力した際の出力時間を設定します。（選択肢：3 ～ 10 秒）
画面自動切換え	画面自動切換えを設定します。（選択肢：ON/OFF）
画面自動切換え周期	画面自動切換え ON 時の切換え周期を設定します。（選択肢：3 ～ 10 秒）
スポット CH	スポット出力するカメラ CH を設定します。 ※スポット出力できるカメラ CH は型番によって異なります。

2.4.4　モーション検出領域設定

①デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、[...]ボタンを押すとモーション検出枠の設定画面が表示されます。



検出枠設定画面

②コントロールボタン(▲▼◀▶)でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、前面パネルの「決定」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックするとモーション検出領域に設定されます。
モーション検出領域に指定された枠は緑色に塗りつぶされます。

③繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。

④設定が終了したら、前面パネルの「戻る」ボタンまたはリモコンの「ESC」ボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

2.4.5　リモコン ID の操作

①デバイス設定メニューの「リモコンID」項目でリモコンIDを設定します。0～99の数字で設定できます。0に設定するとライブ画面の右下に R:ALL のアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。

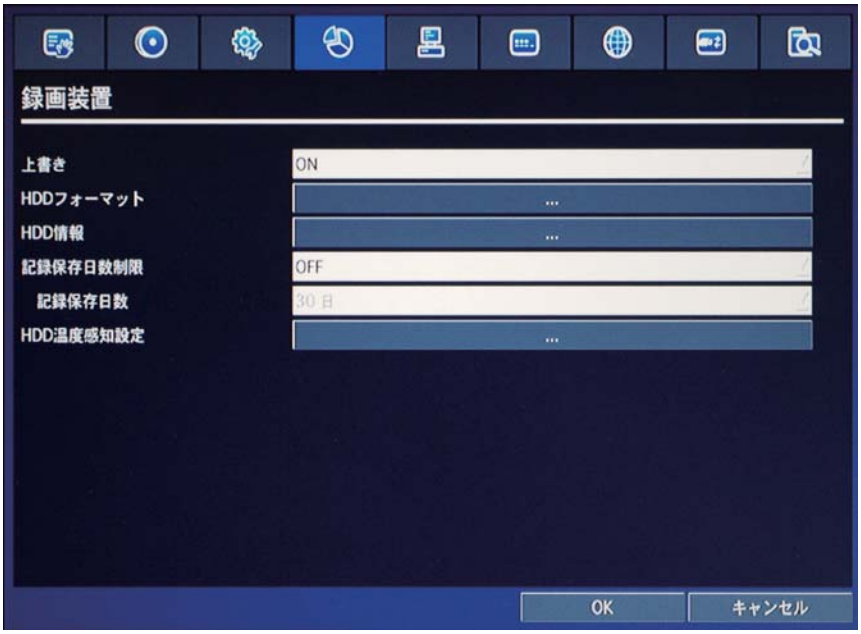
②「ESC」ボタン繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコンIDを0以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の R:ALL のアイコンが消え、IDが設定されてないリモコンでは操作できなくなります。

③リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。リモコンにIDが設定されます。

④本機とリモコンに設定したのIDが一致すると、本機が操作できるようになります。

2.5　録画装置設定

ハードディスクに関する設定を行います。

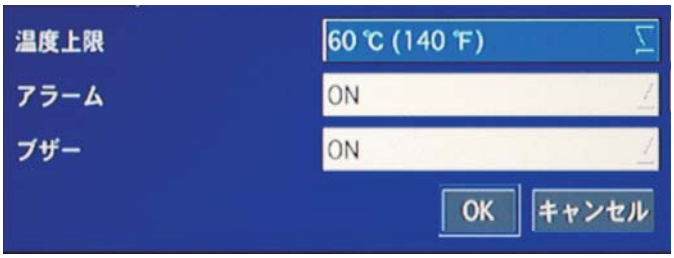


録画装置メニューの項目

項目	説明
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、古い映像を削除し、そこに上書きして録画をつづけるための設定です。(選択肢:ON/OFF) ※上書きがONに設定されている場合、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。 ※上書きがOFFに設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると録画を停止します。
HDDフォーマット	内蔵のハードディスクを初期化します。[...]ボタンを押すと、フォーマット画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットを行い、DVRが再起動します。 ※ すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。
HDD情報	[...]ボタンを押すと、搭載されているハードディスクの総容量と残容量, HDDの録画開始時刻と最終録画時刻、温度や通電時間などが確認できます。
記録保存日数制限	録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢:ON/OFF)
記録保存日数	「録画制限」設定がONの場合、録画記録を保存する日数を設定します。(設定範囲:1～90日) ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番で削除されます。
HDD温度感知設定	[...]ボタンを押すと、表示されるHDD温度感知画面から、ハードディスクの温度が一定以上になった時、アラームや警告音を出力するように設定できます。 ※ 詳細は「2.5.1. HDD温度感知設定」をご参照ください。

2.5.1. HDD温度感知設定

ハードディスクの温度が異常値になった時、アラームを出力させることができます。

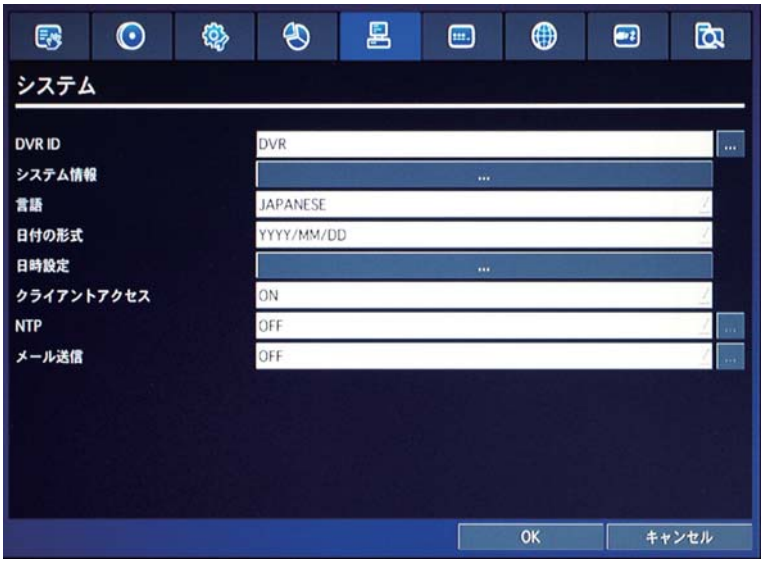


HDD温度感知メニューの設定

項目	説明
温度上限	使用中のハードディスクの温度の上限値を設定します。(設定範囲:40 ～ 80℃) ※ 現在使用中のハードディスクの温度は、「HDD情報」から確認できます。
アラーム	ハードディスクの温度が設定した上限より上がった場合、アラームを鳴らすかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
ブザー	ハードディスクの温度が設定した上限より上がった場合、ブザーを鳴らすかを設定します。(選択肢:ON/OFF)

2.6. システム設定

DVRのシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。



システムメニューの項目

項目	説明
DVR ID	本機を複数接続するときは、各機器に固有の名前を付けることができます。[...]ボタンを押し、文字表でDVR IDを入力します。
システム情報	[...]ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からモデル名・ソフトウェアのバージョン, HDD容量, IPアドレス, MACアドレス, DDNS STATUSなどが確認できます。
言語	表示言語を指定します。
日付の形式	日付表示形式を選択します。 ● 適用例 ： 2000年12月25日の場合、 YYYY-MM-DD ： 2000-12-25　　MM-DD-YYYY ： 12-25-2000 DD-MM-YYYY ： 25-12-2000　　YYYY/MM/DD ： 2000/12/25 MM/DD/YYYY ： 12/25/2000　　DD/MM/YYYY ： 25/12/2000
日時設定	[...]ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。

①まず、サマータイムを設定します。(選択肢：OFF/北欧/欧州/その他)
　● サマータイムを使用しない日本地域の場合は「OFF」に設定してください。

②「日時設定」項目のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。

③年/月/日/時/分/秒を設定し、「OK」ボタンを押します。

④変更日時を適用するかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。

⑤設定の保存画面で「はい」を選択すると、DVRが再起動し、変更した日時が適用されています。
　※従来の時刻より前の時刻に変更した場合、「時刻不一致」が発生することがあります。
　　詳細は「2.6.3 時刻不一致が発生した場合は」をご参照ください。

クライアントアクセス	ネットワークを通じて、外部のPCからDVRへ接続することを許可するか、しないかを設定します。(選択肢:ON/OFF)
NTP	インターネットまたはLAN上のNTPサーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。(選択肢:ON/OFF) ONを選択し、... ボタンを押すと、NTPの設定ができます。 ※ 詳細は「2.6.1. NTP設定」をご参照ください。
メール送信	DVRからメールを送信する機能です。(選択肢:ON/OFF) ONを選択し、... ボタンを押すと、メール送信の設定ができます。 ※ 詳細は「2.6.2. メール送信設定」をご参照ください。

2.6.1. NTP設定

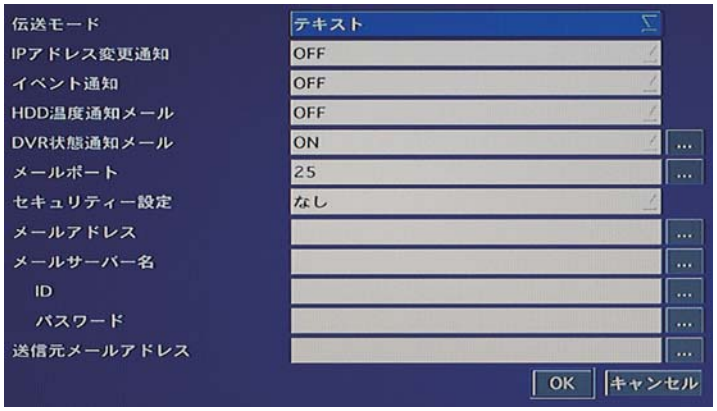
ネットワーク上のNTPサーバーに接続し、DVRの時計を標準時刻に同期することができます。

NTPメニューの設定

項目	説明
NTPサーバーアドレス1	同期をあわせるために接続するNTPサーバーを指定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
NTPサーバーアドレス2	NTPサーバーアドレス1が接続できなくなった場合に、接続するNTPサーバーを指定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。(設定範囲:GMT-12:00～+13:00) 日本国内では、「GMT+9:00」を選択してください。
接続モード	NTP同期合わせを、数時間周期に行うか、毎日1回特定時刻に行うかを選択します。(選択肢 : 周期指定 / 時刻指定 / 一回)
接続周期・時刻	同期する時間あるいは時刻を設定します。 (接続モードが時刻指定時の選択肢 : 01:00AM ～ 12:00AM) (接続モードが周期指定時の選択肢 : 1 ～ 24 時間ごとに) (接続モードが一回の選択肢 : 選択不可)※設定時のみ NTP 時刻合わせを行います。 例) 接続モードが「周期指定」、 接続周期・時刻が「15 時間ごとに」に設定 設定してから 3 時間ごとに NTP 時刻合わせを行います。 例) 接続モードが「時刻指定」、 接続周期・時刻が「03:00PM」に設定 毎日 15 時 (午後 3 時) に NTP 時刻合わせを行います。

2.6.2. メール送信設定

DVRからメールを送信するための設定を行います。



メール送信メニューの設定

項目	説明
伝送モード	メール配信形式をテキスト、 動画から選択します。（ 選択肢 : テキスト / 動画 ）
IPアドレス変更通知	DVRのIPアドレスが変更になると通知メールを送信します。(選択肢 : ON/OFF)
イベント通知	イベントによるアラームが発生すると通知メールを送信します。(選択肢 : ON/OFF)
HDD 温度通知メール	HDDの温度が設定値より高くなると通知メールを送信します。(選択肢 : ON/OFF)
DVR 状態通知メール	DVR の状態を毎日･毎週･毎月のうちいづれかでメール送信します。（ 選択肢 :ON/OFF）
メールポート	メールポートを入力します。（ 選択肢 :ON/OFF）
セキュリティー設定	メール送信時のセキュリティーを指定します。（ 選択肢 : なし /SSL/TLS）
メールアドレス	メールの送信先を指定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信先のメールアドレスを入力します。
メールサーバー名	メールの送信元のサーバーを指定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
ID	メールサーバーに接続するユーザーのIDを設定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、IDを入力します。
パスワード	メールサーバーに接続するユーザーのパスワードを設定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、パスワードを入力します。
送信元メールアドレス	メールの送信元を指定します。... ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信元のメールアドレスを入力します。 ※48 文字以内

2.6.3. 時刻不一致が発生した場合は

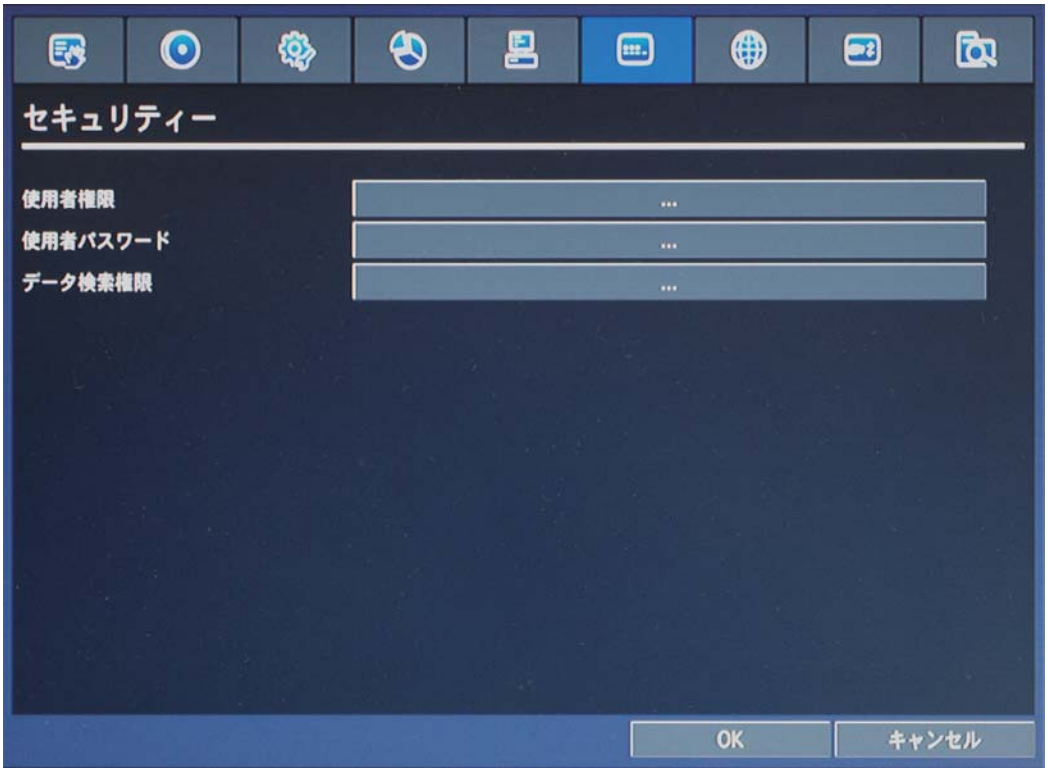
日時設定メニューから日時を更新してリブートした時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、「時刻不一致」が発生します。システムの現在時刻より未来の記録が存在することはシステム的に成立できませんので、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

① 日時を変更してシステムが再起動した時、変更した新しい日時より以前の時刻の録画データが存在すると「時刻不一致」のメッセージが表示されます。

② 新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、テストモードに入って日時をもう一度変更するかを選択します。選択肢から「はい」を選択すると、システムの日時を設定した通りに更新し、その日時より後のデータはハードディスクから消去します。

2.7. セキュリティー設定

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。



セキュリティーメニューの項目

項目	説明
使用者権限	... ボタンを押すと、使用者権限画面が表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※ このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※ 詳細は「2.7.1. 使用者権限設定」をご参照ください。
使用者パスワード	... ボタンを押すと、使用者パスワード画面が表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※ 詳細は「2.7.2. 使用者パスワード設定」をご参照ください。
データ検索権限	... ボタンを押すと、録画データを再生できるチャンネルをユーザーごとに設定できます。 ※ このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※ 詳細は「2.7.3. データ検索権限設定」をご参考ください。

2.7.1. 使用者権限設定

使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。

使用者権限メニューの設定

項目	説明
① パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。ダブルクリックすると、パスワード変更の画面が表示されます。
② パスワード確認	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスを操作する時、使用者をパスワードを確認するかを設定します。チェックをはずした項目は、パスワードを入力しなくても操作することができます。
③ アクセス権限	設定/検索/PTZ/手動録画終了/ネットワークアクセスの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。チェックをはずされたユーザーは、該当項目の操作ができなくなります。 ※ADMIN は変更できません。

2.7.2. 使用者パスワード設定

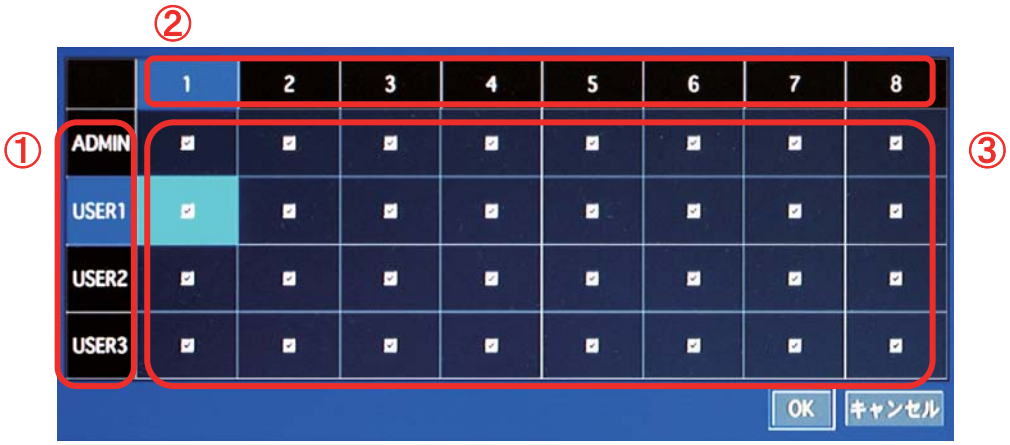
各ユーザーのパスワードが変更できます。

使用者パスワードの設定

項目	説明
ユーザー	パスワードを設定･変更したい使用者を選択します。(選択肢：管理者/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3)
現在	ボタンを押すと文字表が表示されます。現在のパスワードを入力します。 ※ 各使用者のパスワードの工場出荷時の初期値は1111です。
新	ボタンを押すと文字表が表示されます。変更したいパスワードを入力します。※8 文字以内
確認	ボタンを押すと文字表が表示されます。上記の「新」で入力したパスワードをもう一度入力します。

2.7.3. データ検索権限

使用者ごとに各チャンネルを再生できる権限を設定します。

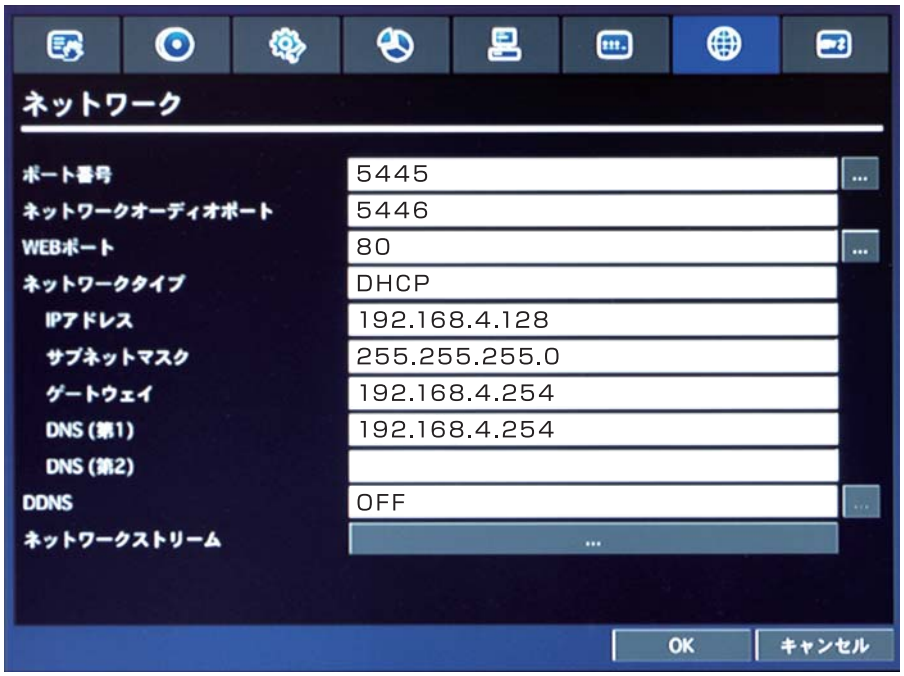


データ検索権限の設定

項目	説明
① **使用者**	データ検索権限を設定する使用者を選択します。
② **再生チャンネル**	データ検索権限を設定するチャンネルを選択します。
③ **再生権限**	各チャンネルのデータについて、各使用者の再生権限を設定します。チェックをはずされた使用者は、該当チャンネルの再生画面を見ることができません。 ※ADMIN は変更できません。

2.8. ネットワーク設定

ネットワークで接続するための設定を行います。



ネットワークメニューの項目

項目	説明
ポート番号	ボタンを押すと表示される入力画面で、固有のネットワークポート番号を入力します。（初期値： 5445） ルーターなどを使用し、使用者のネットワーク内に複数のDVRが存在する時、各DVRに固有のポート番号を指定することで外部ネットワークからの接続が可能になります。
ネットワーク オーディオポート	オーディオ用のネットワークポートです。 ポート番号を入力すると、自動で +1 の番号が入力されます。
WEBポート	ボタンを押すと表示される入力画面で、ウェブブラウザーから接続するためのポート番号を入力します。（初期値：80）
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。（選択肢： 固定/DHCP） 固定IPを使用する場合は「固定」、動的IPを使用する場合は「DHCP」を選択してください。
IPアドレス	DVRのIPアドレスを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
ゲートウェイ	ゲートウェイを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
DNS(第1)	ボタンを押すと表示される入力画面で、使用するDNSサーバーを指定します。
DNS(第2)	ボタンを押すと表示される入力画面で、使用するDNSサーバーを指定します。
DDNS	ネットワークを通じてDVRにアクセスする時、IPアドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNSサーバーに登録し、DDNSサービスを利用することができます。 （選択肢： OFF/サーバー1/サーバー2）

	サーバー1かサーバー2を選択し、[...]ボタンを押すと表示されるDDNSサーバー設定画面で、使用するDDNSサーバーを設定します。 ※ 詳細は「2.8.1. DDNSサーバーの設定」をご参照ください。
ネットワークストリーム	[...]ボタンを押すとネットワークストリーム設定画面が表示されます。 ネットワークを通じて外部のPCへ伝送するデータの解像度やフレームレート、画質をチャンネルごとに設定します。

2.8.1 DDNSサーバーの設定

DDNSサーバーに登録したドメイン名で外部PCからアクセスすることができます。
※DDNS設定をご使用の場合、PCに詳しい方でなければ設定が難しい為、サポート対象外になります。

2.8.1.1. bestddns.comを利用する場合

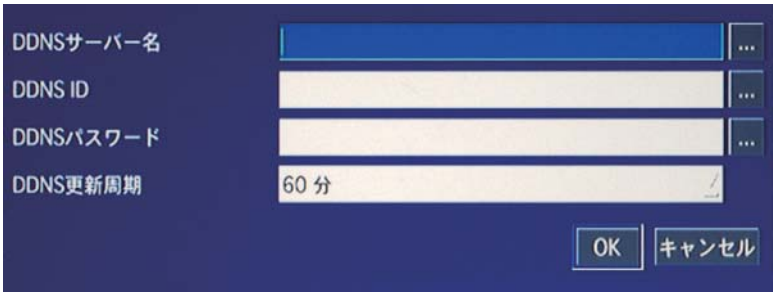
「DDNS」項目に「サーバー1」を選択し、[...]ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

DDNSサーバー1の設定

項目	説明
DDNSサーバー名	DDNSサーバー名を選択します。日本地域では、「bestddns.com」を選択してください。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲： 5～60分)

2.8.1.2. その他のDDNSサーバーを利用する場合

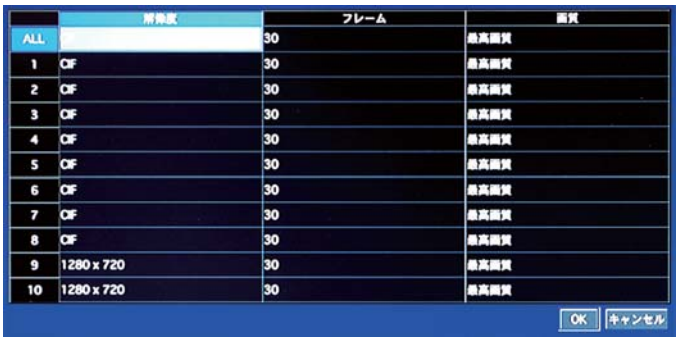
「DDNS」項目に「サーバー2」を選択し、[...]ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。



DDNSサーバー2の設定

2.8.2　ネットワークストリーミングの設定

ストリーミング時の下位項目（解像度、録画フレーム、画質）をチャンネルごとに設定します。



ネットワークストリーミングの設定

項目	説明
解像度	録画の解像度を設定します。 （1 ～ 8 選択肢：CIF[360×240]、D1[720×480]） （9 ～ 10 選択肢：1280×720、640×360）
録画フレーム	録画のフレームレートを設定します。 （選択肢：1fps/5fps/10fps/15fps/20fps/25fps/30fps）
画質	録画画質を選択します。 （選択肢：ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質）

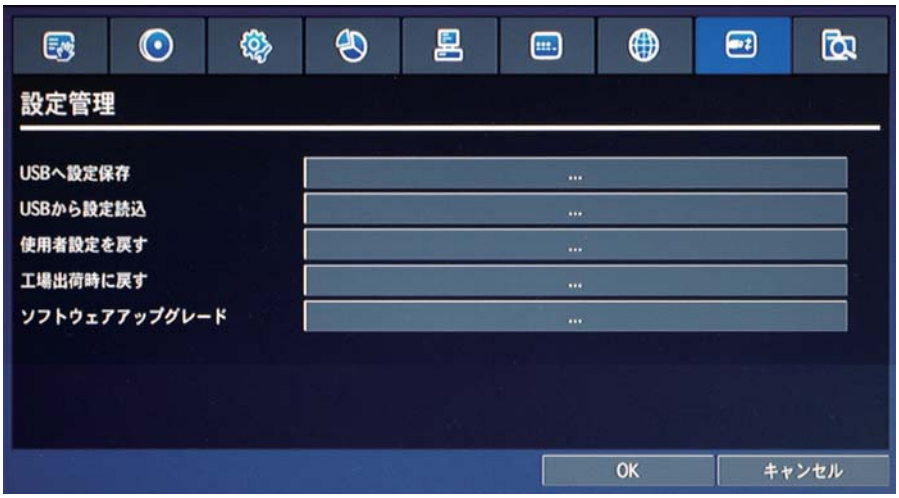
操作方法

コントロールボタン（▲▼◀▶）で変更したい項目に移動し、本体の「決定」ボタンまたはリモコンの「SELECT」を押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。
コントロールボタン（◀▶）で設定値を変更し、本体の「決定」ボタンか「戻る」ボタンまたは、リモコンの「SELECT」か「ESC」を押すと設定値が保存されます。
※「ALL」の設定値を変更すると、1 ～ 8 チャンネルの設定値が一度に変更できます。

項目	説明
DDNSサーバー名	ボタンを押すと表示される文字表で、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDNSパスワード	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲：5～60分)

2.9. 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。

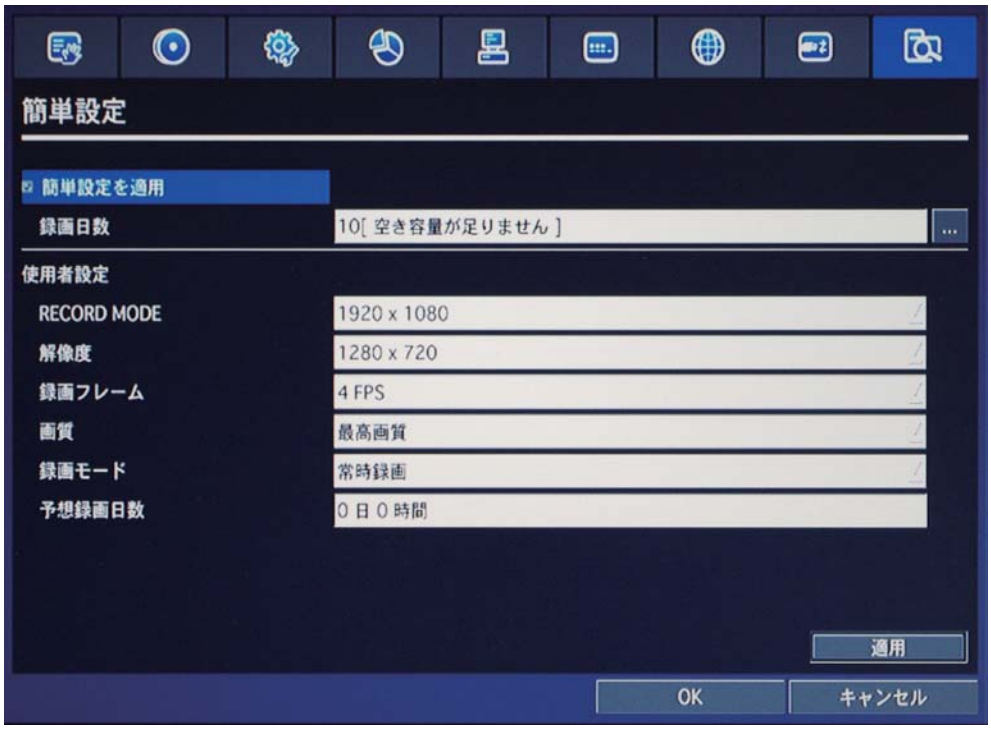


設定管理メニューの項目

項目	説明
USBへ設定保存	DVRの現在の設定値をUSBメモリーに保存します。 USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、... ボタンを押すと選択画面が表示されます。「はい」を選択すると、USBメモリーの中にconfigフォルダーが生成され、DVRの設定値がCFG形式で保存されます。
USBから設定読込	USBメモリーに保存した設定値をDVRに呼び出します。 USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、... ボタンを押すと選択画面が表示されます。「はい」を選択すると、USBメモリーの中のconfigフォルダーに保存されている設定値を読取り、DVRの設定メニューに上書きします。
使用者設定を戻す	設定を初期化します。但し、言語・DVRのID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・DLS設定・ネットワーク設定・HDDシリアル番号・HDDエラー記録の設定は維持されます。 ... ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVRがリブートし、設定値が初期化されます。
工場出荷時に戻す	すべての設定を工場出荷時と同じく初期化します。 ... ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVRがリブートし、設定値が初期化されます。
ソフトウェア アップグレード	ソフトウェアのバージョン確認、バージョンアップをおこないます。

2.10. 簡単設定

録画したい日数に合わせて、録画条件が自動的に設定されます。



簡単設定メニューの項目

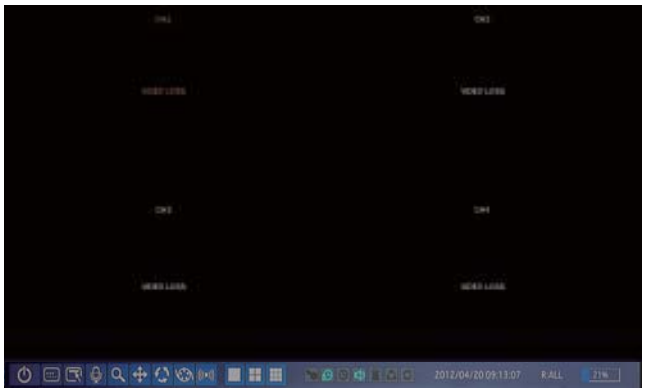
項目	説明
簡単設定を適用	簡単設定を使用するかを設定します。 チェックボックスにチェックを入れると、装着されているハードディスクの総容量を基準とし、「録画日数」に合わせてシステムが最適の録画条件を設定します。 ※「簡単設定を適用」すると、「録画」メニューに設定されている録画条件は無視されます。
録画日数	簡単設定を適用して、録画したい日数を指定します。 ボタンを押すと表示される文字表で、数字を入力します。
使用者設定	この下位項目の解像度、録画フレーム、画質、録画モード、予想録画日数は、使用者が「録画日数」に入力した数字によって自動的に変更されます。 また、各項目の設定値を直接変更することもできます。その場合、システムの計算によって予想録画日数が変わります。

注意 ：「予想録画日数」は、理論上の計算による推定値です。画像の動きや色彩によって、実際の録画日数とは異なることがあります。

3. ライブ監視

3.1. ライブ画面の説明

DVRが起動すると最初に表示される基本モードです。接続されているカメラのライブ映像が見られます。
画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや、動作状態などが表示されます。
※タスクバーの表示 / 非表示は画面下にマウスを移動するか、本体前面の [戻る] ボタンで行えます。



ライブ画面のタスクバーの表示アイコン

アイコン	説明
	システムを終了します。
	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定メニューに入ります。 ※ 設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
	音声を出力するチャンネルを選択します。クリックするごとにCH1→CH2→CH3→CH4→音声OFF→CH1→…の順番で切換わります。
	検索メニューに入ります。 ※ 検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※ PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
	画面自動切換え動作を開始/中止します。 この機能は、1画面表示状態で動作します。
	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
	アラーム出力機能をON/OFFにします。
	ライブ映像を1画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが切換わります。 ※ ライブ映像をダブルクリックすることで、1画面⇔4画面⇔8画面に切換えることもできます。
	ライブ映像を4分割で表示します。クリックするごとに選択チャンネルが変わります。 ※ ライブ映像をダブルクリックすることで、1画面⇔4画面に切換えることもできます。
	ライブ映像を8分割で表示します。クリックするごとに選択チャンネルが変わります。 ※ ライブ映像をダブルクリックすることで、1画面⇔4画面⇔8画面に切換えることもできます。

※レコーダーの型番によって分割表示アイコンの種類が異なります。

	使用者の操作がロック状態の時にハイライトされます。
	アラーム出力機能がONの時にハイライトされます。アラーム出力機能がOFFの時には、外部センサーから入力があってもアラーム出力が発生しません。
	アラーム出力中に表示します。
	音声出力状態を表示します。CH1音声出力/CH2音声出力/CH3音声出力/CH4音声出力/音声出力OFFごとにアイコンが変わります。
	モーションか外部センサーの入力による録画中に表示します。
	ネットワーククライアントがDVRに接続している時に表示します。
	画面自動切換えが動作している時に表示します。
	現在の日時を表示します。 ※ 現在の日時は「システム」メニューで設定できます。
	現在操作中のリモコンのIDを表示します。 例）リモコンのIDが35に設定してあると、R;35と表示されます。 リモコンIDが設定されていない場合はR:ALLを表示します。 ※ リモコンIDは「デバイス」メニューで設定できます。
	ハードディスクの使用容量を0～99%で表示します。

3.1.1. ポップアップメニュー

ライブ画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューの項目

項目	説明
設定	設定メニューに入ります。 ※ 設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
音声	音声を出力するチャンネルを選択します。クリックするごとにCH1→CH2→CH3→CH4→音声OFF→CH1→…の順番で切換わります。 ※レコーダーの型番によってチャンネル数は異なります。
検索	検索メニューに入ります。 ※検索メニューの説明は P.46 の「4. 検索と再生」をご参照ください。

カメラ PTZ	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※ PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
画面自動切換え	画面自動切換え動作を開始/中止します。 この機能は、1画面表示状態で動作します。
手動録画	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
アラーム出力	アラーム出力機能をON/OFFにします。
タスクバー自動隠し	クリックするごとに、ライブ画面の下部のタスクバーの自動隠し機能が設定/解除されます。
ch情報	選択チャンネルの録画設定情報を表示します。 ※ 録画設定については「2.3. 録画設定」をご参照ください。
システム情報	システムの情報を表示します。 ※ システム情報は「システム」メニューの「システム情報」からも確認できます。
システムロック	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスや リモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
システム終了	システムを終了します。

3.1.2. デジタルズーム機能

デジタルズームで、ライブ画像の一部を拡大してみることができます。

①ライブ映像を1画面に表示します。

②拡大したい部分を、マウスで左上から右下へドラッグして指定します。

③選択部分だけが1画面で表示されます。

[選択chを1画面で表示] **[マウスでドラッグ]** **[選択部分だけが1画面で表示]**

※再生画面も同じ方法でズームすることができます。

4. 検索と再生

4.1. 検索メニューの基本操作

4.1.1. 検索画面に入るには

① 検索画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルの「検索」ボタンまたはリモコンの「SEARCH」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

4.1.2. 再生時の操作

各検索モードで再生したいデータを選択して再生をはじめると、下図のような再生画面が表示されます。

再生画面のコントロールパネルの機能

番号		説明
①	**録画日時**	録画された日付と時刻を表示します。
②	**タイムバー**	再生中の日付の24時間をバーで表示します。録画データがある時間帯は、水色のラインで表示されます。 赤いスライドノブは、現在再生中の時点を示します。マウスでスライドノブをドラッグ＆ドロップすると、再生時点が変更できます。

③	**画面分割**	再生画面の表示方法を選択します。 をクリックすると1画面、 をクリックすると４分割、 をクリックすると９分割、 をクリックすると 16 分割で表示されます。 ※レコーダーの型番によって分割表示アイコンの種類が異なります。
④	**再生状態**	現在の再生モードを表示します。正/逆方向、再生速度などの情報が表示されます。
⑤		クリックするごとにボタンが ⇔ に切換わります。 をクリックすると静止画を表示、 をクリックすると再生を再開します。
		現在再生中の時刻より1分前/先の映像にジャンプして再生します。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が2倍速→4倍速→8倍速→16倍速→32倍速→1倍速→2倍速･･･に変わります。
		正方向の再生状態でクリックすると、スローに再生します。クリックするごとに再生速度が1/4倍速→1/2倍速→1倍速→1/4倍速･･･に変わります。 ※ 戻し方向のスロー再生はできません。
		再生中の映像を静止画か動画でバックアップします。
		再生を中止して検索メニューに戻ります。前面パネルやリモコンの「ESC」ボタンを押しても検索メニューに戻ることができます。

4.2. タイムライン検索

7.2.1 タイムラインからデータを検索するには

録画データをタイムラインで検索することができます。

① 検索メニューで 「タイムライン検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

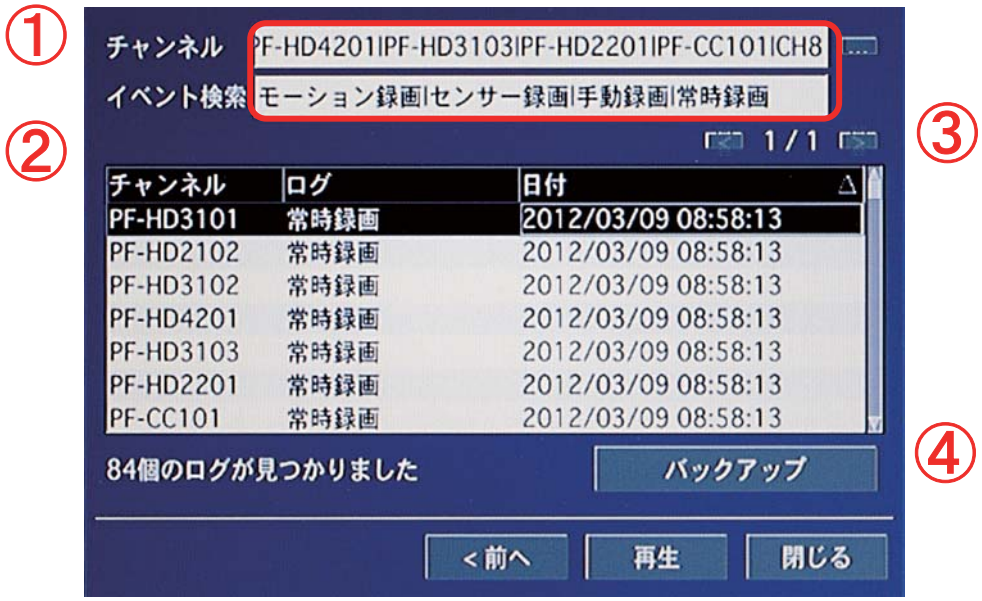
②カレンダーに、録画データのある日付は黄色で、現在の選択日付は黒で表示されています。
再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「再生」をクリックすると再生が始まります。

4.3 イベント検索

4.3.1. イベント検索画面からデータを検索するには

イベント検索画面の構成は下図の通りです。



イベント検索画面の説明

番号	説明
① 検索条件	検索するチャンネルとイベントタイプを表示します。[...]をクリックすると表示される検索条件画面から、検索したいチャンネルやイベントのタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。検索したいチャンネルやイベントのタイプは、複数選択することができます。
② ログ	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。「チャンネル」、「ログ」、「日付」をクリックすることで、リストを各項目ごとに整列できます。
③ ページ	表示されたログリストのページを数字で表示します。ページが複数の時、[＜][＞]をクリックすると前/次のページを表示できます。
④ バックアップ	検索されたログを、txt形式のファイルでUSBメモリーに保存します。USB端子にUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。

4.4. 先頭映像検索

検索メニューで「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている一番古い録画データの再生が始まります。

4.5. 最終映像検索

検索メニューで「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている録画データから一番最新の3分間のデータの再生が始まります。

4.6. 日時指定検索

検索メニューで「日時指定検索」を選択すると、検索したい録画データを年/月/日/時/分/秒で指定できるようになります。日時を設定し、「再生」をクリックすると、指定された日時のデータが再生されます。

4.7. キャプチャーリストの検索

ライブや再生画面の動画や静止画をキャプチャーしたログを検索することができます。

① 検索メニューで「キャプチャーリスト」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、キャプチャーデータのある日付は黄色で、現在の選択日付は黒で表示されています。検索したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ 選択した日のキャプチャー記録がリストで表示されます。リストから画像を見たいログを選択し、「表示」をクリックすると、キャプチャー画像の確認やバックアップができます。

4.7.1. キャプチャー画像を確認・バックアップするには

キャプチャー画像の画面の構成は下図の通りです。

キャプチャー画像画面の説明

番号		説明
①	キャプチャー画像	キャプチャーしたデータの静止画を表示します。
②	ページ	表示されたキャプチャーデータの番号を数字で表示します。キャプチャーデータが複数の場合、< > をクリックすると前/次のキャプチャー画像が表示できます。

③	**キャプチャー情報**	キャプチャー時の情報を表示します。キャプチャーチャンネル、バックアップ動画の長さ、録画データの日時、保存メディアなどの情報が確認できます。
④	バックアップ	表示されているキャプチャーデータをさらにバックアップすることができます。USB端子にUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、キャプチャーデータがUSBメモリーに保存されます。この時、動画のキャプチャーデータは動画で、静止画のキャプチャーデータは静止画で保存されます。

4.8. ログの検索

システムの動作・操作記録が閲覧できます。

① 検索メニューで「ログ」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、システムログのある日付は黄色で、現在の選択日付は黒で表示されています。検索したいログがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ 選択した日のシステムログがリストで表示されます。USB端子にUSBメモリーを接続し、「保存」ボタンをクリックすると、リストをtxt形式のファイルでUSBメモリーに保存することができます。

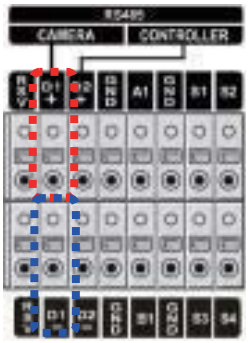
5. PTZカメラの操作

5.1. PTZカメラの基本操作

5.1.1. PTZカメラの接続と設定

① RS-485対応のPTZカメラを、DVRの後面パネルのRS-485ポートに接続します。

②「デバイス」メニューの「PTZ」項目で、PTZの設定を行います。



※レコーダーの型番によって RS-485ポートの形状が異なります。

5.1.2. PTZ操作画面に入るには

① PTZ操作画面に入るには、以下のような方法があります。

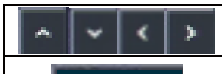
- 前面パネルかリモコンの「PTZ」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「PTZ」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

5.2. PTZ操作画面

PTZコントロールパネルのボタンの説明

ボタン	説明
初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
パン/チルト	パン/チルト をクリックし、 右図のコントロールボタンをクリックすることで 移動したい方向へ移動します。
ズーム/フォーカス	ズーム/フォーカス をクリックし、 / でズームIN/OUTを、 / でフォーカスNEAR/FARを調整します。
OSD表示	カメラのOSDをDVR画面に表示し、DVR側でカメラのメニューを設定することができます。 カメラOSDモードの操作には、下記のボタンを使用します。

	メニューの移動/設定値の変更
確定	下位メニューに入る/項目を選択する
ESC	前画面に戻る/メニューを終了する

オートスキャン	操作の前に、カメラOSDからオートスキャン動作を設定してください。

	オートスキャン をクリックし、数字ボタンでカメラOSDから設定したオートスキャン番号を入力し、開始 をクリックすると、オートスキャン動作が始まります。 停止 をクリックするとオートスキャンを中止します。
プリセット	パン/チルト動作で、表示したい場所にカメラを位置させ、プリセット をクリックし、数字ボタンをクリックして設定の保存 をクリックすると、その時点のカメラ位置が保存されます。 ※カメラ位置は0～99番まで保存できます。 数字ボタンをクリックして 移動 をクリックすると、その番号に保存されたカメラ位置へカメラが移動します。
ツアー	操作の前に、カメラOSDからツアーグループを設定してください。 ツアー をクリックし、数字ボタンでカメラOSDから設定したツアーグループの番号を入力し 開始 をクリックすると、ツアー動作が始まります。 停止 をクリックするとツアー動作が中止されます。
数字ボタン	オートスキャン、プリセット、ツアーメニューで使用します。 3番以上の数字は、 をクリックして表示される入力表から入力できます。

6. バックアップ

6.1. ライブ映像のバックアップ

6.1.1. ライブ映像を静止画でバックアップするには

①ライブ映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- ライブ監視中に、前面パネルの「バックアップ」ボタンまたはリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「バックアップ」をクリックします。

②バックアップ画面が表示されると、バックアップファイルを保存するメディア(USBメモリー)を確認します。USB端子にUSBメモリーを接続し、「次へ」をクリックしてください。

③次の画面で「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

④「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、USBメモリーを取り外します。

⑤バックアップされたライブ映像の静止画は、USBメモリーのバックアップ日の日付のフォルダーの中に保存されています。

6.2. 再生映像のバックアップ

6.2.1. 再生映像を静止画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- 録画データの再生中に、前面パネルの「バックアップ」ボタンまたはリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルの のアイコンをクリックします。

② バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「静止画」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

③ バックアップファイルを保存するメディア(USBメモリー)を確認します。USB端子にUSBメモリーを接続し、「次へ」をクリックしてください。

④ 次の画面で「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑤「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、USBメモリーを取り外します。

⑥ バックアップされた再生映像の静止画は、USBメモリーの録画データの日付のフォルダーの中にJPEG形式で保存されています。

6.2.2. 再生映像を動画でバックアップするには

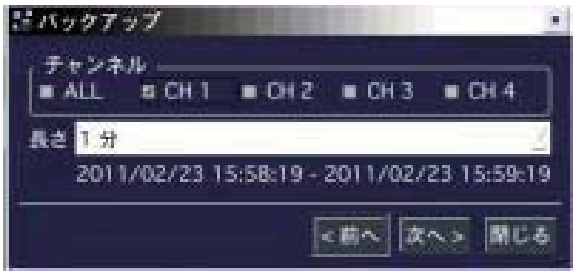
① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- 録画データの再生中に、前面パネルの「バックアップ」ボタンまたはリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルの のアイコンをクリックします。

② バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「動画」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

③ バックアップファイルを保存するメディアを選択します。USBメモリーか外付けHDDをUSB端子に接続し、「次へ」をクリックしてください。

④ 下図のような画面が表示されると、バックアップチャンネルやバックアップする時間を設定してください。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択してください。「長さ」の選択範囲は、USBメモリーに保存の場合は1～60分、外付けHDDに保存の場合は1～24時間です。「長さ」項目の下の行には選択時間の範囲が表示されます。



⑤ 次の画面で「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑥「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。

⑦ バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

6.3. キャプチャーリストからのバックアップ

ライブ監視や再生中にバックアップした静止画や動画の記録は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」から検索し、さらにバックアップすることができます。

詳細は「4.7.1 キャプチャー画像を確認・バックアップするには」をご参照ください。

※ 外付けHDDに直接記録される大容量バックアップの場合は、キャプチャーリストには記録されません。

6.4. 動画バックアップファイルの再生

録画データをUSBメモリーや外付けHDDに動画でバックアップすると、動画ファイルが「h264」の拡張子で保存されます。この時、一緒に保存される「DvrPlayer」フォルダーの中の「HDPlayer.exe」プログラムで、h264形式の動画ファイルを再生することができます。

※バックアップファイルは、独自のファイル形式の為、専用ソフト以外では再生できません。

6.4.1. 動画ファイルやフォルダーの生成

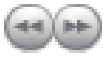
バックアップした動画ファイルとHD Playerは、USBメモリーや外付けHDDのフォルダーに保存されています。その時、フォルダーやファイル名は下記のようにつけられます。

保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USBメモリーバックアップ	ドライブ¥yyyymmdd¥hhmmss	CH番号.h264
外付けHDD(大容量)バックアップ	ドライブ¥DVR¥yyyymmdd¥hhmm	CH番号.h264
HD Player	ドライブ¥DvrPlayer	HDPlayer.exe

6.4.2. HD Playerの構成

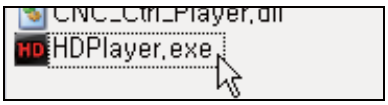
録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされるHD PlayerでPCから再生することができます。

HD Playerの構成

番号		説明
①	**画面表示部**	バックアップ映像が表示されます。 画面表示部をマウスの右ボタンでクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの「Capture」をクリックすると、表示中の画像がJPEGで保存されます。「About」をクリックすると、設定画面が表示されます。
②		HD Playerの画面表示部だけがフルスクリーンに表示します。フルスクリーン状態を解除するには、「ESC」ボタンをクリックしてください。
		HD Playerの画面を隠します。
		HD Playerの画面をフルスクリーンに表示します。
		HD Playerを終了します。
③	**タイムバー**	動画の再生時点をスライドノブで表示します。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
④	**録画時刻**	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
⑤	**録画チャンネル**	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
⑥		クリックするごとにボタンが ⇔ に切換わります。 をクリックすると静止画を表示、 をクリックすると再生を再開します。
		早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が2倍速→4倍速→2倍速･･･に変わります。 をクリックして静止画状態になると、 に切換ります。このボタンをクリックすると、1秒前/先の画像を表示します。
		現在再生中の時点より1分前/先の映像にジャンプして再生します。
⑦		再生画面を分割画面で表示します。
⑧		再生したい動画のあるフォルダーを選択します。
		音声記録のある動画ファイルを再生します。 但し、HD-0410Sモデルでは音声記録機能は対応していません。
		設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダーの指定や、バージョン情報の確認などができます。
		現在再生中の画像をプリンターでプリントします。

6.4.3. 動画バックアップファイルの再生

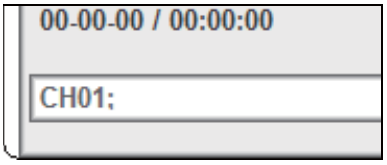
① HDPlayer.exeファイルをダブルクリックし、HD Playerを立ち上げます。



② をクリックし、再生したいh264ファイルのあるフォルダーを選択します。

③ チャンネル欄にチャンネル名が表示されることを確認し、 をクリックします。

④ データの日時情報が表示され、再生が始まります。



7. 遠隔で操作するには

付属のクライアントソフトを使うと、DVRの画像をパソコンの画面から見ることができます。

注意 ： 帯域幅が大きい場合は、1台のDVRに同時に接続できるPCの台数は4台までです。
帯域幅が小さい場合は、1台のDVRに接続するPCの台数は1台にすることをお勧めします。

注意 ： ルーターを通じてインターネットに接続している場合、ルーターからのポートフォワーディング(Port Forwarding)が必要です。
DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、UMSクライアントからのバックアップ機能を使用したい場合は、基本ポート+1のポートをオープンしてください。
尚、UMSクライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、基本ポート+10のポートと、Webポートをオープンしてください。
設定例） DVR本体のネットワークメニューに入力したポート番号が5445の場合、ルーターから5445/5446/5455の3つのポートや、Webポートの80をオープンしてください。

7.1. UMSクライアントソフトの動作環境

- CPU ： Intel Pentium Ⅳ 1.4Ghz以上
- メモリー ： 512MB (推奨 ： 1GB以上)
- VGA ： 64MB (推奨 ： 128MB以上)
- 解像度 ： 1024x768
- O/S ： Windows 2000/ XP Professional/ XP home / Vista / 7
- Direct X ： DirectX 9以上

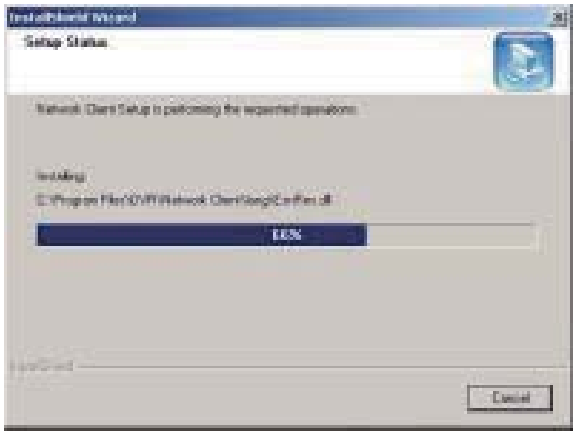
7.2. UMSクライアントソフトのインストール

① 付属のCD-ROMをPCにセットして「UMSClient～.exe」と「UMSMClient～.exe」の2種類がありますので、ひとつづつインストールします。
アイコンをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

② 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
インストール先のフォルダーを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。

③「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

④ インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。



⑤ インストールが終了すると、右図のような「UMS Client と UMS Multi Client」のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

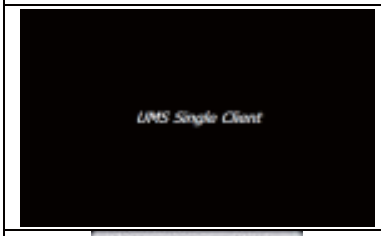
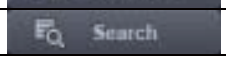
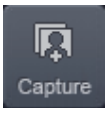
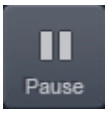
⑥ アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。

7.3. UMSクライアント“UMS Single Client” の設定と使用

遠隔地にあるDVRのカメラ映像を、PCから監視・再生することができます。

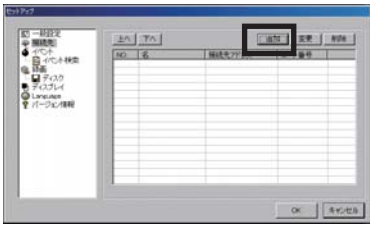
7.3.1. ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	**画面表示部**	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 画面表示部にカーソルをのせると、左下にミニ画面が表示され、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	日時情報	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	**検索**	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	パン/チルト/ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	**キャプチャー**	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	**再生/停止**	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	録画ON	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	DVR側にアラームを発生させます。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

7.3.1.1.　接続のしかた ：ローカル接続（インターネット非経由）

※英語表示になっている場合は“Language”から日本語に変更できます。
日本語を選んで、UMSClientを再起動してください。（詳細65ページ）

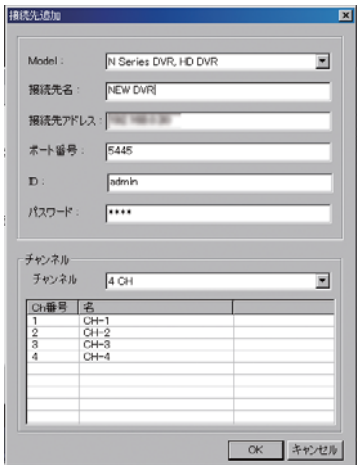


① 画面右下にあるアイコン

をクリックします。

② サブウインドウが開いたら、左メニューの「接続先」を選択、
ウインドウ右の「追加」をクリックします。

③ さらに「接続先追加」のサブウインドウが開きますので、接続に必要な情報を入力します。



- Model：接続するDVRのモデル群を選択します。⇒ N Series DVR,HD DVR を選択
- 接続先名： DVRに、管理者用の名称をつけてください。
- 接続先アドレス：DVRのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
- ポート番号：DVRのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
  ※“WEB ポート”ではありません
- ID：接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合、「admin」と入力します。
- パスワード：DVRの「セキュリティー」メニューで設定したネットワーク用
  のパスワードを入力します。
  ※ 工場出荷時初期設定値：1111
- ●チャンネル：DVR のチャンネル数に合わせます。

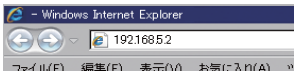
④ 「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。
※登録可能な接続先の数は、制限されておりません。

⑤ メイン画面に戻ったら画面右上のアイコン

をクリックで接続します。

画面に映像が表示されない場合

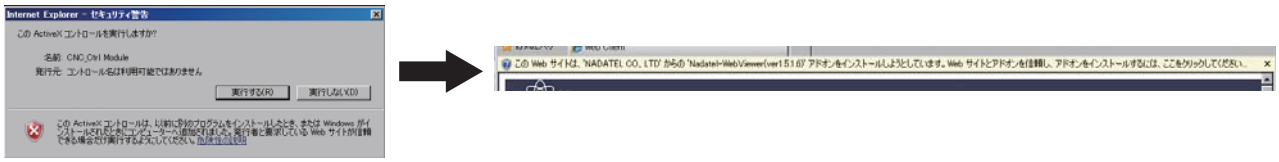
メイン画面下のログウインドウに「リンク接続」が表示されているのに画面にカメラ映像が表示されない場合は、上記の接続先追加の際に「接続先アドレス」で入力したIPアドレスをインターネットエクスプローラーのアドレスバーに入力して、キーボードのEnter(Return) キーを押してください。



「Web Client」の画面が出たら、右上の接続ボタン

をクリックしてください

セキュリティの警告のウインドウが出ましたら「実行する」を押してください。警告バーにアドオンのインストールの確認が表示されますので、クリックしてください。



ウインドウが開いて「Nadatel-WebViewer」のインストールの確認が表示されますので、インストールをクリックしてください。

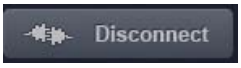
インストール後、PCを再起動してください。再起動後、UMS Clientを起動して再接続してください。

7.3.1.2.　接続のしかた：インターネット経由

インターネット経由での接続には、ポート開放（ポートフォワーディング）が必要です。
DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、基本ポート +1のポートを解放してください。
※IPアドレス /サブネットマスク /ゲートウェイ /DNS情報が不明な場合は固定 IPを取得したプロバイダーにお問い合わせください。
※DDNS設定をご使用の場合、PCに詳しい方でなければ設定が難しい為、サポート対象外になります。

DVRに必要情報を入力設定後、UMS Clientの設定をしてください。

7.3.1.3.　接続の切断

画面右上にあるアイコン 

をクリックします。

7.3.1.4　UMSクライアントのデジタルズーム機能

DVR本体と同様、UMSクライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

①UMSクライアントの画面表示部にカーソルを位置させると、画面表示部の左下にミニ画面が表示されます。
②マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームイン・アウトされます。ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。
③マウスの左ボタンで画面をドラッグすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。

[左下にミニ画面が表示]　　**[ホイールでズームイン]**　　**[ドラッグで表示移動]**

※再生画面も同じ方法でズームすることができます。

7.3.1.2. 双方向オーディオ

UMSクライアント側とDVR側の双方向オーディオ通信ができます。

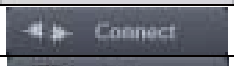
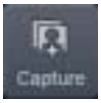
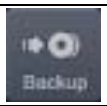
- PC(UMSクライアント)側 ： マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。
- DVR側 ： マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

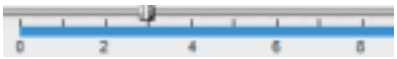
7.3.2. 検索モードの構成と各部のはたらき

画面右上の

ボタンを押すと画面が切り替わります。

検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	**接続/切断**	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	**キャプチャー**	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	**バックアップ**	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。

	**タイムラインバー**	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	時間単位表示/分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

7.3.2.1. 動画のバックアップ

DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

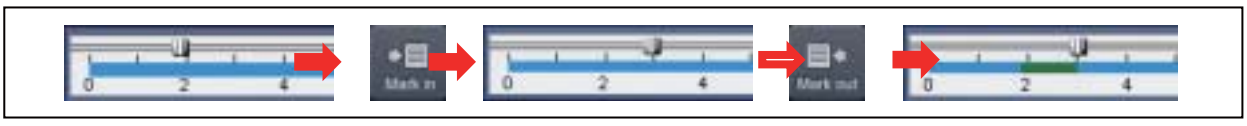
① ボタンでパソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。

－PCのデータを再生：UMSクライアントでライブ画面の監視中に、 ボタンをクリックしてパソコンのハードディスクに保存しておいたデータを再生できます。

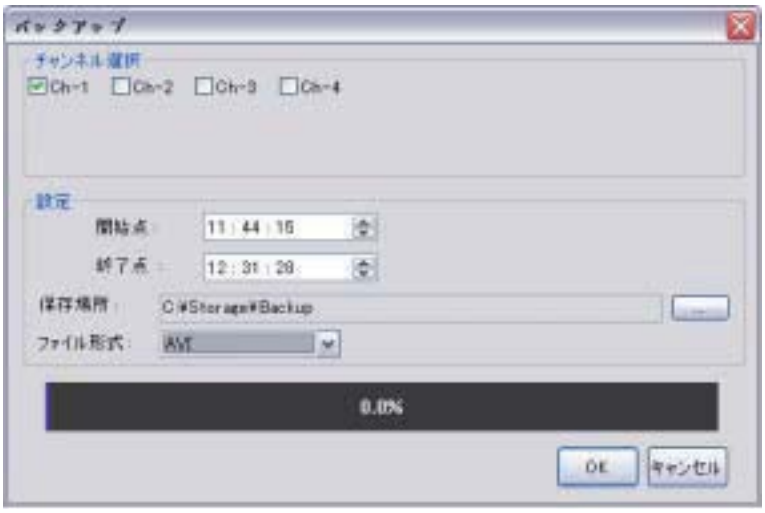
－DVRのデータを再生：DVRの録画設定により、DVRのハードディスクに保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

②タイムラインのスライドノブをドラック&ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、 ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

③スライドノブを再度ドラック&ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、 ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。



④バックアップする区間が緑色で指定された状態で、 ボタンをクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。



- チャンネル選択 ： バックアップするチャンネルを選択します。
- 開始点/終了点 ： バックアップする時間を再指定することができます。
- 保存場所 ： バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。デフォルトはC:¥Storage¥Backupになっています。
- ファイル形式 ： AVIファイル形式で保存されることになります。

⑤バックアップ設定を終え、「OK」ボタンをクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示され、バックアップがはじまります。

7.3.3. 設定のしかた

ボタンをクリックし、UMSクライアントの設定を変更・確認します。

一般設定

パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。

保存場所 ： キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。

ネットワーク状態 ： ライブモードで、FPSやBitRateなどのネットワークのステータスを表示します。

自動再接続 ： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。

日付の形式 ： 日付の表示形式を選択します。

接続先

接続したいDVRのSite名、IPアドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMSクライアントから接続することができます。

接続先の登録数には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。

イベント

ログ ： UMSクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。

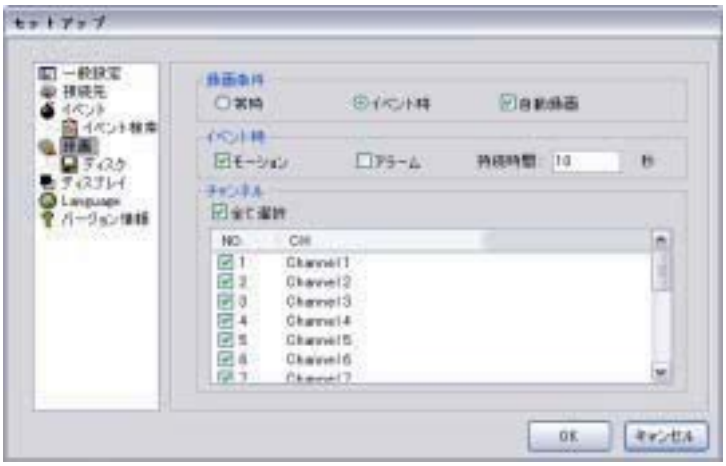
イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索

イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。

録画

UMSクライアントでライブ画面を録画する時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。



ディスク

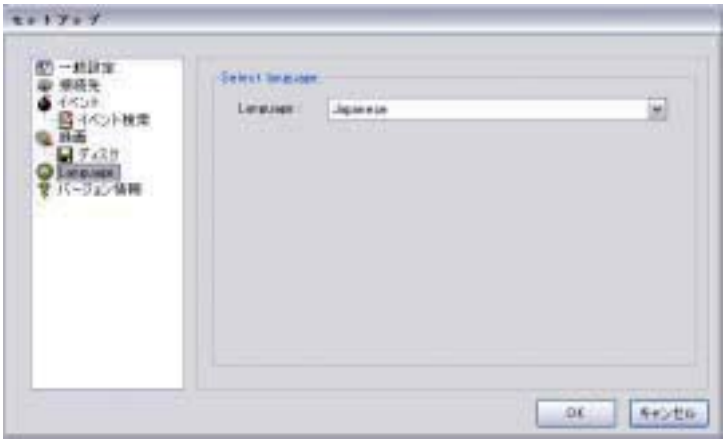
UMSクライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。

ディスプレイ

複数のモニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのUMS映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語

UMSクライアントは多言語を対応しています。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了してから再度立ち上げた時から適用されます。



7.3.4. ポップアップメニュー

UMSクライアント画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

マイクON

PCに接続されているマイクを利用し、DVRが設置されている現場に音声を送ることができます。

フルスクリーン

UMSクライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。

フルスクリーン表示を解除する時は、PCの「ESC」ボタンを押します。

セットアップ

UMSクライアントの設定を行います。

※ 詳細は、「7.3.3. 設定のしかた」

遠隔設定

接続中のDVR本体の設定を遠隔で変更できます。

※ 詳細は、「7.3.5. 遠隔設定」をご参照ください。

ロック

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。パスワードを入力すると、画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。

ロックの解除は同じ手順で行います。

※ ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定とは関係なく、4～8桁の臨時のものを使います。

終了

UMSクライアントソフトを終了します。

7.3.5. 遠隔設定

接続中のDVR本体の設定を遠隔で変更できます。

①ポップアップメニューから「遠隔設定」をクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。

②パスワードを入力すると、遠隔設定の画面が表示されます。
※ 初期設定パスワード　1111

③設定を変更し、右下の「APPLY」ボタンをクリックすると、変更した設定内容が DVR 本体に反映されます。

※各設定項目の詳細内容は、「2. 設定のしかた」をご参照ください。

※遠隔設定では、DVR本体の「セキュリティー」、「設定管理」、「簡単設定」の設定は変更できません。

④「UPGRADE」のタブでは、DVR本体のソフトウェアを遠隔でアップグレードすることができます。PCから正しいソフトウェアファイルを指定し、「UPGRADE」ボタンをクリックすると、DVR本体のシステムソフトウェアが変更されます。

7.4. UMSクライアント“UMS Multi Client” の設定と使用

遠隔地にある複数のDVRのカメラ映像を、PCから監視・再生することができます。

7.4.1. 接続のしかた

7.4.1.1. 接続先の登録

UMSマルチクライアントからDVRに接続するには、接続したいDVRの情報をあらかじめ登録しておく必要があります。

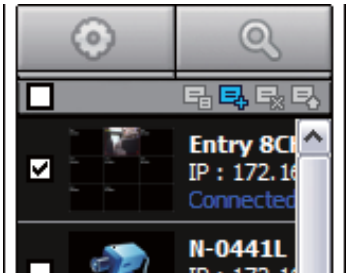
① UMSマルチクライアントが立ち上がったら画面の左側の操作パネルの上部にある アイコンをクリックします。

② 「接続先追加」画面が表示されると、接続に必要なアドレス情報などを入力します。

- モデル ： 接続するDVRのモデル群を選択します。⇒ N Series DVR,HD DVR を選択
- 接続先名： DVRに、管理者用の名称をつけてください。
- 接続先アドレス： DVRのシステム情報に表示されているIPアドレスを入力します。
- ポート番号： DVRのネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
  ※“WEB ポート” ではありません
- ID： 接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合、「admin」と入力します。
- パスワード： DVRの「セキュリティー」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。
  ※ 工場出荷時初期設定値：1111

④ 「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。
※登録可能な接続先の数は、制限されておりません。

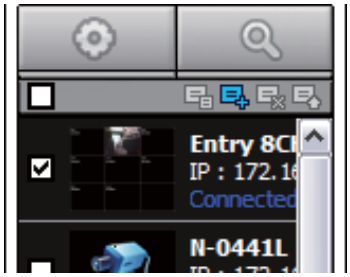
7.4.1.2. 接続先への接続



①接続先リストから、接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
チェックは複数選択可能です。同時に接続できる接続先の数は、16ヶ所です。

② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先に接続されます。

7.4.1.3. 接続の切断



① 接続先リストから、接続を切断したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
チェックは16つまで複数選択可能です。

② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先の接続が切断されます。

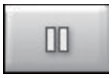
7.4.1.3 接続先の設定変更

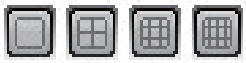
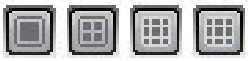
接続先リストから設定変更したい接続先を右クリックして「接続」 を選択します。 内容を変更後 OKをクリックしてください。

7.4.2. ライブモードの構成と各部のはたらき

UMSクライアントを立ち上げると、最初に表示される画面です。ライブ映像の監視や設定ができます。

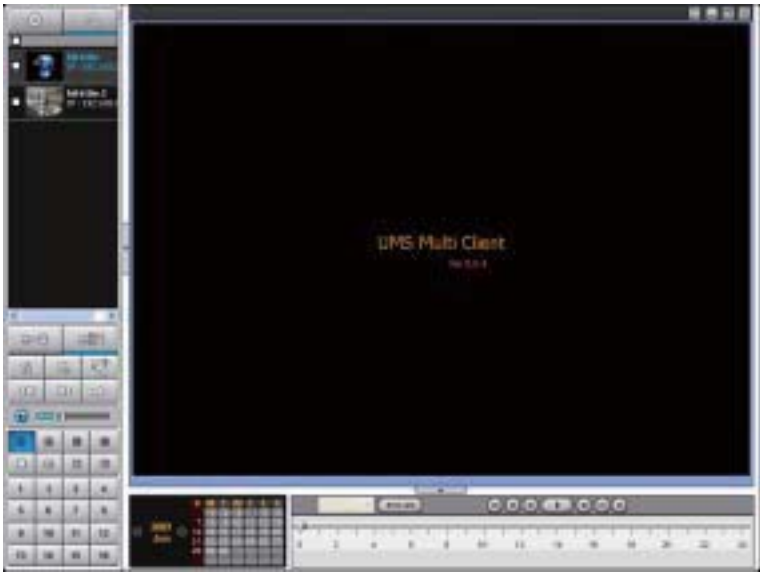
メイン画面のコントロールボタン

ボタン	機能
 パソコンの保存データを再生	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
 DVRの保存データを再生	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
接続先リスト	使用者が登録した全ての接続先を表示します。 接続中の接続先は、「Connected」と表示されます。 サムネール更新： 接続中の接続先のサムネールを更新します。 接続先追加： 接続先リストに、新しい接続先を登録します。 接続先削除： ハイライトされている接続先をリストから削除します。接続中の接続先は削除できません。 ネット検索： 登録されている接続先のリスト表示され、接続先の追加・削除・変更することがします。
接続	接続先に接続します。 このボタンをクリックする前に、リストから接続したい接続先をチェックしてください。
切断	接続を切断します。 このボタンをクリックする前に、リストから切断したい接続先をチェックしてください。
設定	UMSマルチクライアントの全般的な設定を行います。
キャプチャー	ライブ画面を静止画でキャプチャーします。
イベントリスト	プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
 一時静止	ライブ画面を静止画に表示します。
アラームON	DVR側に接続してあるアラームを点灯させます。
録画ON	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
音声	ライブ映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
マイク	マイクの出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。

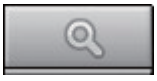
PTZ操作	DVRに接続されているPTZカメラの操作ができます。 パン右/左 チルト上/下 ズームイン/アウ フォーカスイン/アウト
 CH分割	ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。
 接続先分割	画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。

7.4.3. 検索モードの構成と各部のはたらき

操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」/「DVRの保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地のDVRのハードディスクに保存されている映像を再生することができます。



検索画面のコントロールボタン

ボタン	機能
パソコンの保存データを再生	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。
 DVRの保存データを再生	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。

接続先リスト	使用者が登録した全ての接続先を表示します。 DVRのハードディスクに保存されている動画を検査する時、検索中の接続先は「Remote PB」と表示されます。
接続	データを検索したい接続先に接続します。 このボタンをクリックする前に、リストから検索したい接続先をチェックしてください。
切断	検索中の接続先の接続を切断します。 このボタンをクリックする前に、リストから切断したい接続先をチェックしてください。
設定	UMSマルチクライアントの全般的な設定を行います。 詳細は「1-6.設定」をご参照ください。
キャプチャー	再生画面を静止画でキャプチャーします。
イベントリスト	プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
開始点	動画でバックアップしたい再生映像の開始点を指定します。
終了点	動画でバックアップしたい再生映像の終了店を指定します。
バックアップ	指定した映像の範囲を動画でバックアップすることができます。
音声	再生映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入/切が切換わります。
接続先分割	画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。
CH分割	ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。

	1画面で表示したいチャンネルを選択します。
	カレンダーから、データを再生したい日付を選択します。 をクリックすると前月、をクリックすると次月に切換わります。 録画データのある日付はオレンジ色、選択された日付は水色に表示されます。
	データを検索したいチャンネルを選択します。 選択したチャンネルの保存データがタイムライン上に表示されます。
	1日または1時間をタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は、タイムライン上に水色の線で表示されます。
	タイムラインの目盛りの単位を切換えます。 をクリックすると、選択した日付のデータが24時間で表示されます。 をクリックすると、1時間分のデータが60分で表示されます。
	再生画面を操作するボタンです。 再生/一時静止/早送り/早戻し/1分スキップなどの操作ができます。

7.4.3.1. 再生のしかた

DVRやパソコンのハードディスクに保存されている録画データを検索して再生することができます。

①ライブ画面の操作パネルから、パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合は

を、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合は をクリックします。

②接続先リストから、データを検索したい接続先のチェックボックスにチェックを入れ、 をクリックします。

※パソコンのハードディスクのデータを検索する時は、この作業を行う必要はありません。

③カレンダーからデータを検索したい日付をクリックします。録画データのある日付はオレンジ色に、選択された日付は水色に表示されます。

④選択された日の録画データをタイムラインから確認します。録画データのある時間帯はタイムライン上で水色の線で表示されます。

⑤タイムラインの上のスライドノブをドラック&ドロップするか、あるいはタイムライン上をクリックすることで再生を開始するポイントを指定します。

タイムラインの目盛りを「24時間」から「60分」に切換えると、再生の開始ポイントがさらに正確に指定できます。

時間単位

切換え

分単位

⑥ をクリックすると、再生がはじまります。

再生中のコントロールボタンは、以下のようなものがあります。

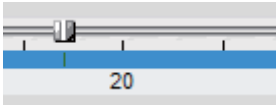
ボタン	機能
	再生/一時静止 クリックするごとに映像の再生、静止画の表示状態に切換わります。
	早送り/早戻し クリックするごとに再生速度がx1、x2、x4、x8、x16に切換わります。
	1分スキップ 現在の再生ポイントから1分前･先にジャンプして再生します。
	コマ送り クリックするごとに前･先の画像を1フレームずつ表示します。

7.4.3.2. 動画のバックアップ

DVRやパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画でバックアップすることができます。

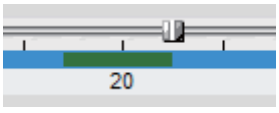
① タイムラインで、録画データのある時間帯を確認します。

② スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の開始点に移動して、 ボタンをクリックします。



指定された開始点に濃い緑色の線が表示されます。

③ スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の終了点に移動して、 ボタンをクリックします。



指定した開始点から終了点までの範囲が濃い緑色の線で表示されます。

④ ボタンをクリックすると、バックアップ画面が表示されます。

⑤バックアップ画面で設定を行います。

- チャンネル選択 ： バックアップしたいチャンネルを選択します。
- 開始点 ： 指定したバックアップ範囲の開始点をさらに変更できます。
- 終了点 ： 指定したバックアップ範囲の終了点をさらに変更できます。
- 保存場所 ： バックアップした動画を保存する場所を指定します。

※セットアップメニューの一般設定でも指定できます。

⑥「OK」をクリックすると、バックアップが始まり、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑦バックアップされたファイル名は[チャンネル番号＋録画時刻＋ファイルの形式]で保存されます。

例）

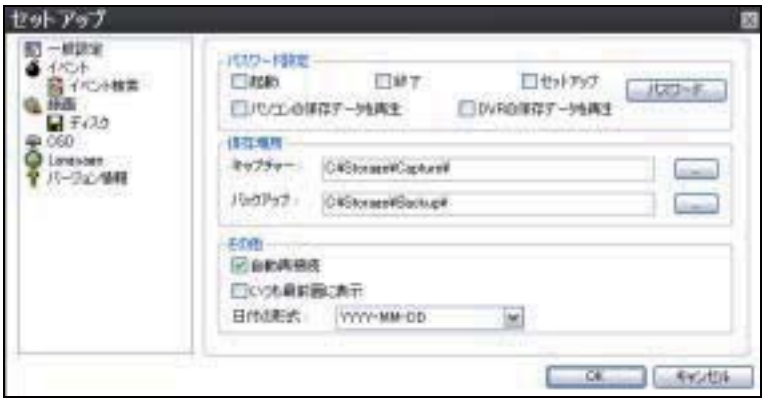
[CH04]04_11_58.avi ＝ 4番チャンネルの4時11分58秒からの録画映像の動画ファイル

⑧AVI形式で保存された動画ファイルは、Windows Media Playerなど、AVI対応の汎用の映像再生ソフトで再生できます。

7.4.4. セットアップのしかた

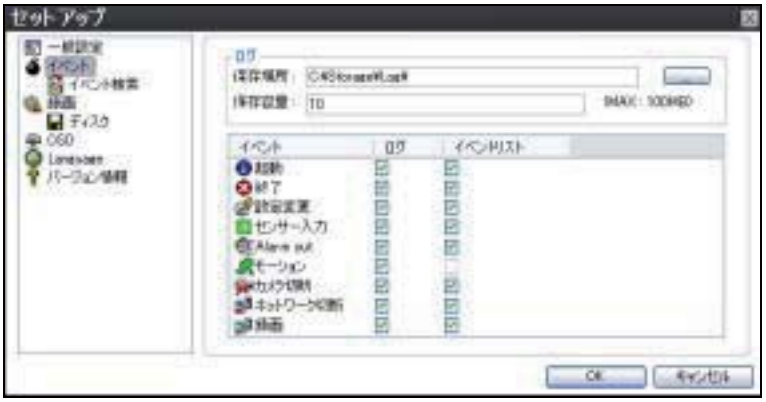
ボタンをクリックするとセットアップ画面が表示され、UMSマルチクライアントの設定が変更・確認できます。

一般設定



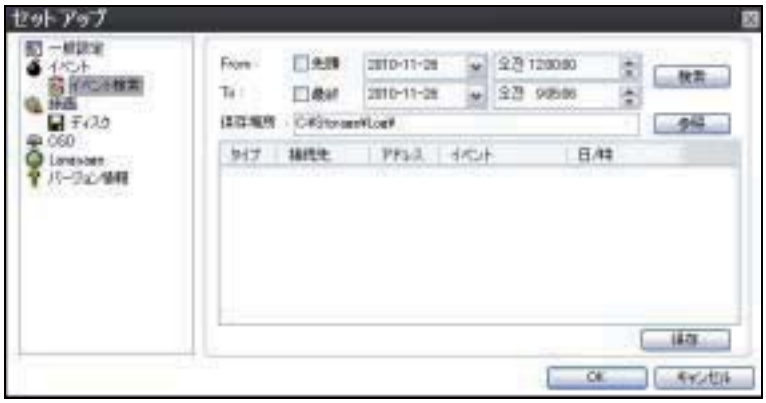
- パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。
- 保存場所 ： キャプチャーした静止画か、バックアップした動画ファイルを保存するフォルダを指定します。
- 自動再接続 ： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。
- いつも最善面に表示 ： 他のウィンドウを重ねてもUMSマルチクライアント画面が隠されないようになります。
- 日付の形式 ： 日付の表示形式を選択します。

イベント



- ログ ： UMSマルチクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
- イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索



- ログの検索 ： イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。
- ログの保存 ： 検索してログがリストで表示されている状態で「保存」ボタンをクリックすると、ログリストをTXT形式で保存することができます。

録画

- 録画条件 ： UMSマルチクライアントのライブ画面で、「録画ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、常時録画を行うか、イベントが発生した時にだけ録画するかを選択します。
  「自動録画」にチェックを入れると、「録画ON」ボタンをクリックしなくても、UMSマルチクライアントの起動時から自動的に録画を開始します。
- イベント ： 「録画条件」を「イベント」に設定した場合、録画を開始するイベント条件を設定します。イベント条件は、モーションかアラーム、あるいは両方選択可能です。
  設定したイベント発生時、「持続時間」に記入した時間だけ録画を行います。
- チャンネル ： 「録画ON」ボタンをクリックした時、パソコンのハードディスクにライブ映像を保存する接続先やチャンネルを設定します。

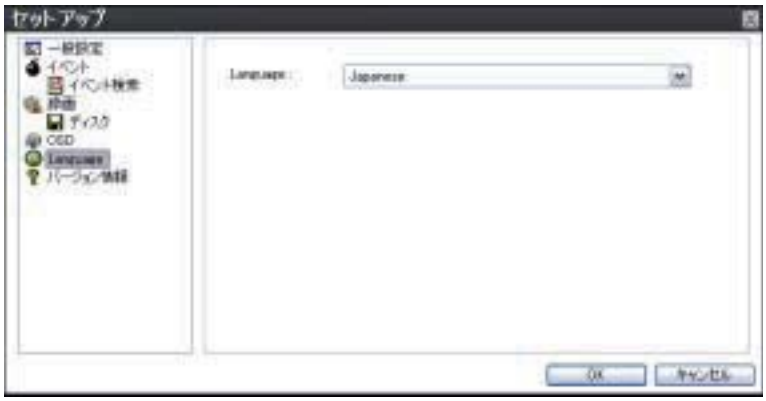
ディスク

- ディスク容量 ： UMSマルチクライアントのライブ画面で、「録画ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、データを保存するパソコンのドライブや、データサイズの上限容量を指定します。
- ディスク情報 ： UMSマルチクライアントがインストールされているパソコンのハードディスクの情報を表示します。
- 上書き ： パソコンのディスクの容量がいっぱいになった時、古いデータを上書きするか、録画を中止するかを選択します。

ディスプレイ

- 接続先 ： OSD表示を設定する接続先を選択します。
- 情報 ： 画像表示部の下部に、フレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を表示するか、日時情報を表示するかを選択します。
- イベント ： DVRで発生したイベントの中で、UMSクライアントのライブ画面に表示したいイベントを選択します。複数選択できます。
- 第2モニター映像補正 ： 複数のモニターを使用するPCで、セカンダリーモニターのUMS映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語



- UMSクライアントで表示する言語を選択します。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了し、再度立ち上げた時点から適用されます。

バージョン情報

- 使用中のUMSクライアントのバージョンが確認できます。

7.4.5. ポップアップメニュー

ライブ画面で、画像の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

①ポップアップメニューから「接続」をクリックすると、接続画面が表示されます。

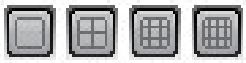
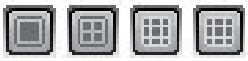
②「接続先選択」から、16ヶ所の中でどのフレームに接続先を表示させるかを選択します。

③選択したフレームの中に表示させる接続先を選択します。

- モデル ： 接続するDVRのモデルタイプを選択します。
- 接続先名 ： ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先の名前のリストが表示されます。
- 接続先アドレス ： ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先のアドレスのリストが表示されます。
- ポート番号 ： 選択した接続先のポート番号を入力します。
- ID ： 接続するユーザータイプを入力します。(admin、user1、user2、user3)
- パスワード ： 選択した接続先のパスワードを入力します。

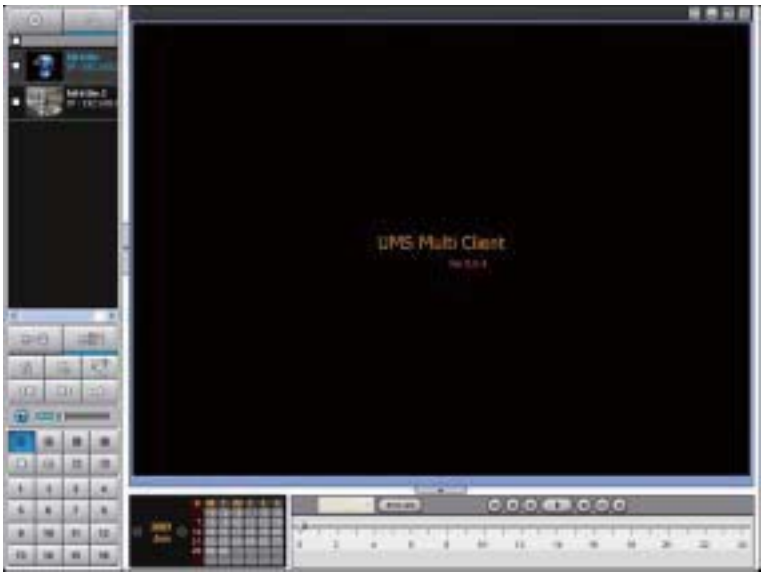
④「OK」をクリックすると、選択した接続先の映像が選択した位置に表示されます。

⑤切断する時は、接続中の接続先の画像の上でマウスを右クリックし、ポップアップメニューから「切断」をクリックします。

PTZ操作	DVRに接続されているPTZカメラの操作ができます。 パン右/左 チルト上/下 ズームイン/アウ フォーカスイン/アウト
 CH分割	ハイライトされた接続先の映像を1画面/4画面/9画面/16画で表示します。
 接続先分割	画面に表示する接続先の数を選択します。 1ヶ所/4ヶ所/9ヶ所/16ヶ所で表示できます。

7.4.3. 検索モードの構成と各部のはたらき

操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」/「DVRの保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地のDVRのハードディスクに保存されている映像を再生することができます。



検索画面のコントロールボタン

ボタン	機能
 パソコンの保存データを再生	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。
 DVRの保存データを再生	DVRのハードディスクに保存された動画を再生します。

7.5. Webクライアントの使用

DVRがネットワークに接続されていると、Internet Explorerのブラウザで映像を監視・再生することができます。

7.5.1. IEからの接続

① パソコンのWebブラウザ(Internet Explorer)を起動します。

② ブラウザのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

入力例：

③ WebブラウザにWeb Viewerの画面が表示されます。

④ メイン画面に戻ったら画面右上のアイコン

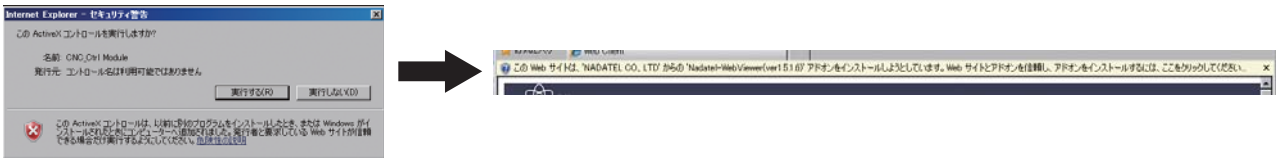
をクリックで接続します。

⑤ ダイアログボックスが表示されるので ID・パスワードを入力して「Connect」をクリックしてください。

初期設定　ID：admin　パスワード：1111

セキュリティの警告が出たら

セキュリティの警告のウインドウが出ましたら「実行する」を押してください。警告バーにアドオンのインストールの確認が表示されますので、クリックしてください。

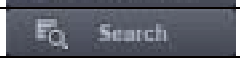
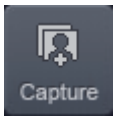
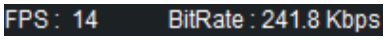


ウインドウが開いて「Nadatel-WebViewer」のインストールの確認が表示されますので、インストールをクリックしてください。

インストール後、PCを再起動してください。再起動後、再度接続してください。

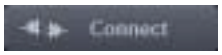
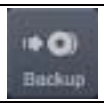
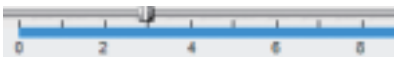
7.5.2. ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 画面表示部にカーソルをのせると、左下にミニ画面が表示され、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	日時情報	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	**検索**	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	パン/チルト/ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン/チルト↔ズーム/フォーカスモードに切換わります。
	**キャプチャー**	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックすると、キャプチャーファイルの保存先の指定画面が表示されます。
	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	セットアップ	遠隔設定画面を表示します。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	**ネットワーク状況**	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

7.5.3. 検索モードの構成と各部のはたらき

検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	**接続/切断**	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	表示するチャンネルを選択します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	**バックアップ**	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	**タイムラインバー**	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移

		動できます。
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	時間単位表示/分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

7.6. モバイルでのライブ画面監視

iPhone、iPad、Android対応のスマートフォンで、DVRの
ライブ監視、録画データの再生が可能です。

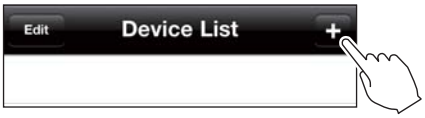
接続の前に

DVRがインターネット経由での遠隔監視が可能な状態に設定する必要があります。P.60「7.3.1.2. 接続の仕方:インターネット経由」参照

7.6.2. iPhone/iPad からの接続

1.App Store から「iUMS」を検索し、ダウンロードします。

2.iUMS を起動し、上部の [+] をタップします。



3.DVR を登録します。

Device Name: 登録するDVRのリスト名を入力します。
IP/DNS: DVRアドレス(IPもしくは、DDNSアドレス)を入力します。
Port: ポート番号を入力します。
ID: DVRで設定したユーザー名を入力します。
Password: DVRユーザーのパスワードを入力します。

全て入力した後、「Save」ボタンをタップして登録完了です。

4. 登録した DVR リストが表示されるので接続する DVR をタップします。

5.[Live(ライブ監視)]または[Playback(再生)]を選択して[Connect]を押して次に進みます。

6a.[Live(ライブ監視)]選択時はライブ監視映像が表示されます。

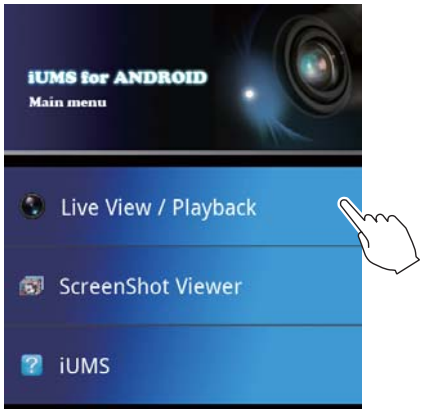
7b.[Playback(再生)]選択時は日付・時間の指定画面が表示された後、再生画面が表示されます。

再生中は、早送り・早戻し・一時停止が行えます。

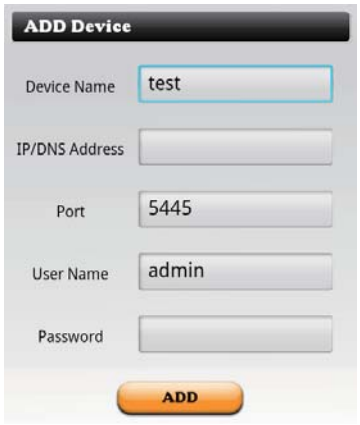
7.6.2. Androidからの接続

1.google play ストアから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。

2.iUMS を起動し、[Live View / Playback] をタップします



3.DVR を登録します。

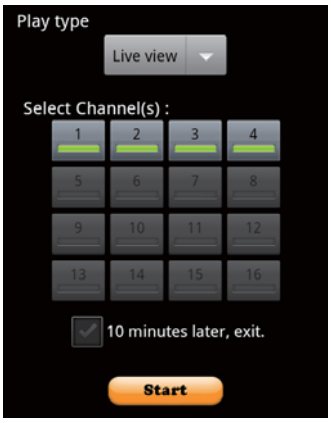


Device Name: 登録するDVRのリスト名を入力します。
IP/DNS Address: DVRアドレス(IPもしくは、DDNSアドレス)を入力します。
Port: ポート番号を入力します。
User Name: DVRで設定したユーザー名を入力します。
Password: DVRユーザーのパスワードを入力します。
全て入力した後、「ADD」ボタンをタップして登録完了です。

4. 登録した DVR リストが表示されるので接続する DVR をタップします。

〇サブメニュー表示ボタンで表示されるメニューについて
Add: 新しいDVRをリストに登録します。
Edit: 登録済みのリストを選ぶと編集が可能です。
Delete: 登録済みのリストを選んで削除します。

5. 接続設定を行います。



Play type: [Live view(ライブ監視)]または[Playback(再生)]から選択します。
Select Channel(s): 接続するカメラチャンネルを選択します。
10minutes later,exit: チェックを入れると10分後に自動で接続を終了します。
上記設定後、「Start」ボタンをタップして次に進みます。

6a.[Live view(ライブ監視)]選択時はライブ監視映像が表示されます。

7b.[Playback(再生)]選択時は日付・時間の指定画面が表示された後、再生画面が表示されます。

再生中は、早送り・早戻し・一時停止が行えます。
カメラボタンをタップすると画像に変換され、起動時メニュー[ScreenShot Viewer]から閲覧することができます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
リモコンを押しても動作しない	電池がなくなっている	電池を新しいものに変える
記録できない	上書き設定を「OFF」に設定している	録画装置設定内上書きを [ON] にする
タイマー記録ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー記録設定が正しくない	スケジュール設定を正しくやり直す
モーション録画ができない	モーション設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

まったく動作しなくなった場合は、次の手順で確認して下さい。
① 電源を入切する。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）
② 品名と品番
（HD-SDI 専用 DVR PF-RN204HD）
③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
④ 製造番号（保証書に記入）
⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。